

Dell S2422HZ/S2722DZ ビデオ会議用モニター ユーザーガイド

モニター モデル: S2422HZ/S2722DZ
規制モデル: S2422HZt/S2722DZt



- **注釈:**注釈には、コンピュータをより有効に使用するために役立つ重要な情報が示されています。
- △ **注意:**注意には、指示に従わなかった場合に起こり得るハードウェアへの損傷またはデータの損失が示されています。
- ⚠ **警告:**警告には、物的損害、身体への傷害、または死亡の可能性が示されています。

Copyright © 2021 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。Dell、EMC およびその他の商標は Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

2021 – 10

Rev. A01

目次

| | |
|----------------------|-----------|
| 安全に関する注意事項 | 5 |
| モニターについて | 6 |
| パッケージの内容 | 6 |
| 製品の特徴 | 7 |
| 部品とコントロールを識別する | 8 |
| 前面図 | 8 |
| 背面図 | 9 |
| 底面図 | 10 |
| モニターの仕様 | 11 |
| 解像度の仕様 | 12 |
| プリセット表示モード | 13 |
| 電氣的仕様 | 15 |
| ウェブカメラ仕様 | 16 |
| マイク仕様 | 16 |
| スピーカー仕様 | 16 |
| 物理的特徴 | 17 |
| 環境特性 | 18 |
| ピンの割当 | 19 |
| プラグアンドプレイ | 23 |
| LCD モニターの品質とピクセルポリシー | 23 |
| エルゴノミクス | 24 |
| ディスプレイの取り扱いと移動 | 25 |
| メンテナンスガイドライン | 27 |
| モニターのお手入れ | 27 |
| モニターを設置する | 28 |
| スタンドを取り付ける | 28 |
| 傾斜、回転、垂直延長調整機能を使用する | 31 |



| | |
|--------------------------------------|-----------|
| 傾斜、回転、垂直延長調整機能 | 31 |
| ディスプレイを回転させる | 31 |
| 回転後にコンピュータのディスプレイ設定を構成する | 32 |
| モニターのウェブカメラを操作する | 32 |
| モニターを接続する | 33 |
| ケーブルを整理する | 35 |
| Kensington ロックを使用してモニターを固定する (オプション) | 35 |
| モニタースタンドを取り外す | 36 |
| 壁取り付け (オプション) | 37 |
| モニターを操作する | 38 |
| モニターの電源を入れる | 38 |
| フロントパネルコントロールの使用 | 38 |
| OSDロック機能を使用する | 40 |
| フロント-パネルボタン | 43 |
| オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用する | 44 |
| メニューシステムにアクセスする | 44 |
| OSD 警告メッセージ | 53 |
| 最大解像度を設定する | 58 |
| Windows Helloの設定 | 59 |
| モニターでウェブカムを有効にする | 63 |
| モニターのスピーカーを有効にする | 64 |
| モニターでマイクを有効にする | 65 |
| トラブルシューティング | 66 |
| セルフテスト | 66 |
| 内蔵されている診断機能 | 67 |
| よくある問題 | 68 |
| 製品に固有の問題 | 70 |
| ユニバーサル・シリアル・バス (USB) に固有の問題 | 76 |



安全に関する注意事項

⚠ 警告: 本文書に指定されている記述以外の操作、調整、または手順をおこなった場合、衝撃や電氣的危険、および/または機械的危険にさらされる可能性があります。

- ・ モニターは硬い表面に置き、取り扱いには注意してください。画面は壊れやすく、落としたり激しい打撃を受けたりすると損傷する可能性があります。
- ・ モニターが、お住まいの地域で使用する AC 電源で動作するように、定格電圧になっていることを常に確認してください。
- ・ モニターは室温で保管してください。過度な低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響を与える可能性があります。
- ・ モニターに激しい振動や強い衝撃を与えないでください。例えば、モニターを車のトランクに置くことはしないでください。
- ・ 長期にわたってモニターを使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- ・ 感電を防ぐため、カバーを取り外したり、モニターの内部に触れたりしないでください。

安全に関する注意事項情報については、安全、環境、規制に関する情報 (SERI) を参照してください。



付属品について..... 77

FCC通知(米国のみ)およびその他の規制情報..... 77

パッケージの内容合わせ..... 77

エネルギーラベルと製品情報シートに関するEPEATデータベース..... 77

モニターには、以下の表に示されているコンポーネントが同梱されています。不足しているコンポーネントがある場合は、Dell にお問い合わせください。詳細については [Dell へのお問い合わせ](#) をご覧ください。

注釈:一部のコンポーネントはオプションであり、モニターに同梱されていない場合があります。国によっては、ご使用いただけない機能もあります。

| コンポーネントの画像 | コンポーネントの説明 |
|---|---|
|  | ディスプレイ |
|  | スタンドライザー |
|  | スタンドベース |
|  | 電源ケーブル(国によって異なります) |
|  | USB 3.2 Gen 1 Type-C ケーブル (C-C) |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ・クイックスタートガイド ・安全、環境および規制に関する情報 |



製品の特徴

Dell S2422HZ/S2722DZフラットパネルディスプレイは、アクティブマトリクス、薄膜トランジスター (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、LEDバックライトを有します。モニターの特徴は次のとおりです。

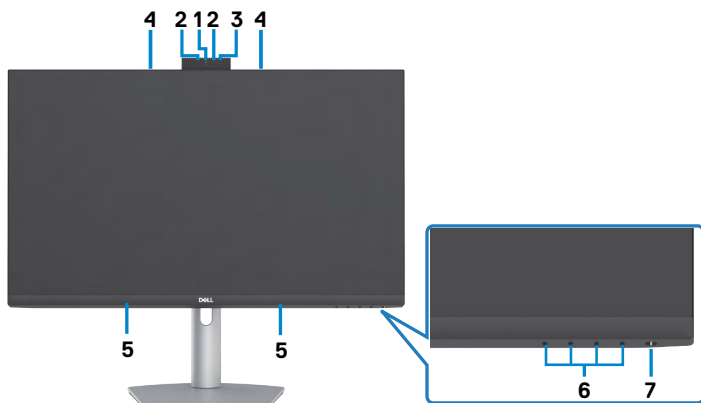
- **S2422HZ**:60.47 cm (23.8インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 1920 x 1080 (16:9)。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- **S2722DZ**:68.47 cm (27.0インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 2560 x 1440 (16:9)。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- 傾斜、回転、ピボット、垂直延長調整機能。
- スピーカー (2 x 5 W)。
- 取り外しできる台座スタンドと、Video Electronics Standards Association (VESA) の100mm取り付け穴が柔軟な取り付けを実現。
- 超薄型ベゼルにより、マルチモニター使用時に生じるベゼルの隙間を最小限に抑えて設置を容易にし、エレガントな視聴を実現します。
- DP を使った広範囲にわたるデジタル接続が可能であるため、モニターを将来長く使用できます。
- シングル USB-C が、映像およびデータ信号を受信しながら、互換ノートパソコンに電源を供給。
- カメラは 2560 x 1920 解像度に対応します。
- コンピュータが対応している場合、プラグアンドプレイ機能をサポート。
- セットアップと画面の最適化を容易にするオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- 電源ボタンと OSD ボタンのロック機能。
- セキュリティ固定スロット。
- スタンバイモードで ≤ 0.3 W。
- 安心を提供するプレミアムパネル交換。
- 危険なブルーライトの放出を最小限に抑えるちらつきのない画面で、目の快適さを最大限にまで高めます。
- モニターには低ブルーライトパネルを採用。工場出荷時の状態にリセット/デフォルト設定モデルは TUV Rheinland (Hardware Solution) に適合しています。
- 目がより快適な状態で視聴できるように、画面から放出される危険なブルーライト量を減らします。
- モニターには目に見えるちらつきを解消するフリッカーフリー技術が採用されており、快適に視聴することができ、目の疲れや疲労を防ぎます。
- Windows Hello (顔認証) の認定を受けており、Microsoft Cortana をサポートします。
- AMD FreeSync テクノロジーをサポート。AMD Freesync 認証範囲は 48 Hz ~ 75 Hz です。

⚠ 警告:モニターからの長時間にわたるブルーライトの放出により、目の疲労やデジタル眼精疲労など、目の損傷が生じることがあります。



部品とコントロールを識別する

前面図



| ラベル | 説明 | 使用 |
|-----|-------------------------------|---|
| 1 | RGB ウェブカム | 10ビット、5M の解像度で最大 30 fps にて動作可能な画像センサーは、画質、フォーマット、出力データ転送をユーザー側ですべて制御できません。画像をビデオ通話へ転送します。 |
| 2 | IR ウェブカム | 暗い環境でも画像を取得して転送できます。 |
| 3 | IR LED | 赤外線インジケーター。 |
| 4 | マイクロフォン | モニターのマイクロフォン。 |
| 5 | 内蔵スピーカー | オーディオ入力から音声を出力するためのものです。 |
| 6 | ファンクションボタン | 詳細は モニターの操作 を参照ください |
| 7 | 電源オン/オフボタン (LED インジケーター付き) | モニターのオン・オフを切り替えます。 |



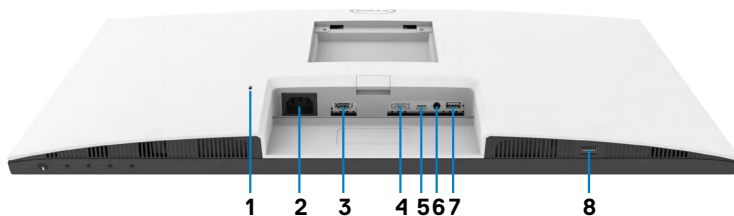
背面図



| ラベル | 説明 | 使用 |
|-----|---|---|
| 1 | VESA マウント用穴 (100 mm x 100 mm - 取り付けられた VESA カバーの後ろ) | VESA に対応した壁取り付けキット (100 mm x 100 mm) を使用して壁に取り付けたモニター。 |
| 2 | 規制ラベル | 規制当局からの認可をリスト表示します。 |
| 3 | スタンドリリースボタン | モニターからスタンドを外します。 |
| 4 | バーコード、シリアル番号、サービスタグラベル | Dell にテクニカルサポートを要請する際にはこのラベルを参照します。サービスタグは一意の英数字識別子であり、Dell のサービス技術者側でご利用のコンピュータ内のハードウェアコンポーネントを識別し、保証情報にアクセスできるようにするためのものです。 |
| 5 | ケーブル管理スロット | ケーブルは、このスロットに通してまとめます。 |



底面図



| ラベル | 説明 | 使用 |
|-----|--------------------------------|--|
| 1 | セキュリティ固定スロット | モニターをセキュリティケーブルロックで固定します (別売)。 |
| 2 | 電源コネクタ | 電源ケーブルを接続します。 |
| 3 | HDMI ポート | コンピュータを HDMI ケーブルを使用して接続します (オプション)。 |
| 4 | DisplayPort in | コンピュータを DisplayPort ケーブルを使用して接続します (オプション)。 |
| 5 | USB-C アップストリーム/ DisplayPort | <p>USB-C ケーブルを使用して、コンピュータを接続します。USB-C ポートは高速の転送速度 (USB 3.2 Gen 1) を提供し、DP 1.2 を使用した代替モードでは、以下と PD 20 V/3.25 A、15 V/3 A、9 V/3 A、5 V/3 A をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S2422HZ の最大解像度は 1920 x 1080 (75 Hz 時) ・ S2722DZ の最大解像度は 2560 x 1440 (75 Hz 時) <p>注釈: USB-C は、Windows 10 より以前の Windows バージョンではサポートされません。</p> |
| 6 | オーディオライン出力ポート | <p>HDMI または DisplayPort または USB-C 音声チャンネルを介して、スピーカーを再生オーディオに接続します。2 チャンネル オーディオのみサポートします。</p> <p>注釈: オーディオライン出力ポートはヘッドフォンに対応していません。</p> |
| 7 | USB 3.2 ダウンストリームポート | <p>モニターからの USB ケーブルをコンピュータに接続します。ケーブルを接続後、モニターで USB ダウンストリームコネクタを使用できるようになります。</p> <p>ポートは 0.9 A まで対応します。</p> |
| 8 | USB 3.2 ダウンストリームポート | <p>モニターからの USB ケーブルをコンピュータに接続します。ケーブルを接続後、モニターで USB ダウンストリームコネクタを使用できるようになります。</p> <p>ポートはバッテリー充電用に 2 A まで対応します。</p> |



モニターの仕様

| モデル | S2422HZ | S2722DZ |
|----------------------|--|--|
| 画面タイプ | Active matrix - TFT LCD | |
| パネルタイプ | 面内切替技術 | |
| アスペクト比 | 16:9 | |
| 表示可能な画像寸法: | | |
| 対角線 | 604.70 mm (23.80 インチ) | 684.70 mm (27.00 インチ) |
| アクティブエリア: | | |
| 水平 | 527.04 mm (20.75 インチ) | 596.74 mm (23.49 インチ) |
| 垂直 | 296.46 mm (11.67 インチ) | 335.66 mm (13.22 インチ) |
| エリア | 156246.28 mm ² (242.15 インチ ²) | 200301.75 mm ² (310.47 インチ ²) |
| ピクセルピッチ | 0.2745(H) mm x 0.2745 (V) mm | 0.2331 (H) mm x 0.2331 (V) mm |
| 1 インチあたりのピクセル数 (PPI) | 92.56 | 108.79 |
| 視野角: | | |
| 水平 | 178° (標準) | |
| 垂直 | 178° (標準) | |
| 輝度 | 250 cd/m ² (標準) | 350 cd/m ² (標準) |
| コントラスト比 | 1000 対 1 (標準) | |
| ディスプレイ画面のコーティング | フロント偏光子 (3H) ハードコーティングをアンチグレア処理 | |
| バックライト | LED | |
| 応答時間(グレーからグレー) | 8 ms (通常モード) 5 ms (高速モード) 4 ms (エクストリームモード) | |
| 色深度 | 16.7 万色 (6 ビット + FRC) | 16.7 万色 (8 ビット) |
| 色域 ¹ | 99% sRGB、ハードウェアブルーライト抑制 | |



| | | |
|---|---|----------|
| 接続性 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 x DP 1.2 (HDCP1.4) ・ 1 x HDMI1.4 (HDCP1.4) ・ 1 x USB-C (DisplayPort 1.2、USB 3.2 Gen 1 アップストリームポート、最大65Wの電力配給PDを備えた代替モード) ・ 1 x USB 3.2 Gen1 (5 Gbps) ダウンストリーム、BC1.2 充電 @ 2A (最大) ・ 1 x USB 3.2 ダウンストリーム ・ 1 x 3.5 mm オーディオ出力ジャック | |
| 境界線の幅 (モニターの端からアクティブエリアまで): | | |
| 上部 | 5.37 mm | 7.37 mm |
| 左右 | 5.38 mm | 7.43 mm |
| 下部 | 21.74 mm | 22.81 mm |
| 調整機能: | | |
| 高さを調節できるスタンド | 110 mm | |
| 傾斜 | -5° ~ 21° | |
| 回転 | -45° ~ 45° | |
| ピボット | -90° ~ 90° | |
| ケーブル管理 | はい | |
| Dell ディスプレイマネージャー (DDM: Dell Display Manager) との互換性 | 簡単アレンジ およびその他の主要な機能 | |
| セキュリティ | セキュリティ固定スロット (ケーブルロックは別売) | |

¹ パネルネイティブのみ、カスタムモードプリセット時。

解像度の仕様

| モデル | S2422HZ | S2722DZ |
|-----------------------------------|--|-----------------------|
| 水平スキャン範囲 | 30 kHz ~ 90 kHz | 30 kHz ~ 120 kHz |
| 垂直スキャン範囲 | 48 Hz ~ 75 Hz | |
| 最大プリセット解像度 | 1920 x 1080 (75 Hz 時) | 2560 x 1440 (75 Hz 時) |
| ビデオ表示機能 (HDMI & DP & USB-C 切替モード) | 480p, 560p, 720p, 1080p 480i, 576i, 1080i (HDMI のみ) | |



プリセット表示モード

S2422HZ

| 表示モード | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | ピクセル クロック (MHz) | 同期極性(水 平/垂直) |
|-------------------|----------------|---------------|-----------------------|-----------------|
| VESA, 640 x 480 | 31.47 | 59.94 | 25.18 | -/- |
| VESA, 640 x 480 | 37.50 | 75.00 | 31.5 | -/- |
| VESA, 720 x 400 | 31.47 | 70.08 | 28.32 | -/+ |
| VESA, 800 x 600 | 37.88 | 60.32 | 40.00 | +/+ |
| VESA, 800 x 600 | 46.88 | 75.00 | 49.50 | +/+ |
| VESA, 1024 x 768 | 48.36 | 60.00 | 65.00 | -/- |
| VESA, 1024 x 768 | 60.02 | 75.03 | 78.75 | +/+ |
| VESA, 1152 x 864 | 67.50 | 75.00 | 108.00 | +/+ |
| VESA, 1280 x 1024 | 63.98 | 60.02 | 108.00 | +/+ |
| VESA, 1280 x 1024 | 79.98 | 75.02 | 135.00 | +/+ |
| VESA, 1600 x 900 | 55.54 | 59.98 | 97.75 | +/+ |
| VESA, 1920 x 1080 | 67.50 | 60.00 | 148.50 | +/+ |
| VESA, 1920 x 1080 | 83.89 | 74.97 | 174.50 | -/+ |



S2722DZ

| 表示モード | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | ピクセルクロック (MHz) | 同期極性 (水平/垂直) |
|----------------------------------|-------------|------------|----------------|--------------|
| VESA, 640 x 480 | 31.47 | 59.94 | 25.18 | -/- |
| VESA, 640 x 480 | 37.50 | 75.00 | 31.50 | -/- |
| VESA, 720 x 400 | 31.47 | 70.08 | 28.32 | -/+ |
| VESA, 800 x 600 | 37.88 | 60.32 | 40.00 | +/+ |
| VESA, 800 x 600 | 46.88 | 75.00 | 49.50 | +/+ |
| VESA, 1024 x 768 | 48.36 | 60.00 | 65.00 | -/- |
| VESA, 1024 x 768 | 60.02 | 75.03 | 78.75 | +/+ |
| VESA, 1152 x 864 | 67.50 | 75.00 | 108.00 | +/+ |
| VESA, 1280 x 720 | 45.00 | 59.94 | 74.25 | +/+ |
| VESA, 1280 x 1024 | 63.98 | 60.02 | 108.00 | +/+ |
| VESA, 1280 x 1024 | 79.98 | 75.02 | 135.00 | +/+ |
| VESA, 1400 x 1050 | 65.32 | 59.98 | 121.75 | -/+ |
| VESA, 1600 x 900 | 60.00 | 60.00 | 108.00 | +/+ |
| VESA, 1600 x 1200 | 75.00 | 60.00 | 162.00 | +/+ |
| VESA, 1920 x 1080 | 67.50 | 60.00 | 148.50 | +/+ |
| VESA, 2560 x 1440 | 88.79 | 59.95 | 241.50 | +/- |
| VESA, 2560 x 1440 (HDMI) | 111.05 | 74.98 | 298.50 | +/- |
| VESA, 2560 x 1440 (DP そして USB-C) | 111.86 | 74.97 | 304.25 | +/- |



電氣的仕様

| モデル | S2422HZ | S2722DZ |
|-------------|--|--|
| ビデオ入力信号 | <ul style="list-style-type: none"> 各差動線路にデジタルビデオ信号 1差動線路あたり100オームのインピーダンス DP/HDMI/USB-C 信号入力をサポート | |
| 入力電圧/周波数/電流 | 100-240 VAC / 50または60 Hz±3 Hz / 2 A (最大) | |
| 突入電流 | 120 V: 42 A (最大) 240 V: 80 A (最大) 0°C でコールドスタート | |
| 消費電力 | 0.2 W (オフモード) ¹ 0.2 W (スタンバイモード) ¹ 13.5 W (オンモード) ¹ 137 W (最大) ² 12.62 W (P _{on}) ³ 41.03 kWh (TEC) ³ | 0.2 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 24.0 W (オンモード) ¹ 149 W (最大) ² 18.26 W (P _{on}) ³ 58.09 kWh (TEC) ³ |

¹ EU 2019/2021およびEU 2019/2013で定められた通り。

² すべてのUSBポートに最大電力負荷をかけた状態で、輝度とコントラストを最大に設定。

³ P_{on}: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りのモードの電力消費。

TEC: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りの合計エネルギー消費量 (kWh)。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を記載しております。お買い求めになった製品はご注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては異なる性能を示すことがあります。かかる情報を更新する義務はその製品にありません。そのため、電気の許容範囲やその他について意志決定するとき、お客様はこの情報に頼るべきではありません。精度または完全性に関しては、明示的にも黙示的にも何の保証もありません。

 **注意: ENERGY STAR 認定モニター。**



本製品は工場出荷時の設定でENERGY STARに適合しており、OSDメニューにある「工場出荷時の値にリセット」機能を使って復元することができます。工場出荷時の設定を変更したり、他の機能を有効にすると、消費電力がENERGY STARで指定されている限界値を超えた値に増大する可能性があります。



ウェブカメラ仕様

| | | |
|----------|---|---------------------------------|
| レンズ | 視野(水平) | 75.4° (2560 x 1920の場合) |
| | フォーカスモード | 固定焦点 |
| | フォーカスエリア | 35 cm~1.5 m |
| | 集束距離(ノーマルモード) | 70 cm |
| 画像センサー | アクティブ配列サイズ | 5メガピクセル |
| ビデオ仕様 | ビデオフレームレート | 1920 x 1080 (フルHD) - 最大30フレーム/秒 |
| インターフェイス | USB2.0高速 | |
| 電源 | USBおよびマイクの場合 3.3ボルト+/- 5% IRカメラの場合5ボルト+/- 5% | |

マイク仕様

| モデル | S2422HZ | S2722DZ |
|-----------------|---------------------|---------|
| マイク種類 | Knowles デジタルマイク x 2 | |
| 感度 | -35dB +/- 1dB | |
| 信号対雑音比 | 68 dB | |
| 全高調波歪 | 0.3% | |
| アコースティック過負荷ポイント | 130 dB SPL | |
| 電源 | 1.65 V - 3.6 V | |

スピーカー仕様

| モデル | S2422HZ | S2722DZ |
|-----------|-----------------|---------|
| スピーカー定格電力 | 2 x 5 W | |
| 周波数応答 | 200 Hz ~ 16 kHz | |
| インピーダンス | 8 オーム | |



物理的特徴

| モデル | S2422HZ | S2722DZ |
|--|---|-----------------------|
| コネクタタイプ | <ul style="list-style-type: none"> ・ DP コネクタ ・ HDMI コネクタ ・ USB 3.2 Gen 1 アップストリームコネクタ ・ 1x オーディオライン出力ポート ・ USB ダウンストリームポート x 2 | |
| 信号ケーブルの種類 | USB 3.2 Gen 1 Type-C - C 1.8 M ケーブル | |
| 寸法(スタンド付き): | | |
| 高さ(延長時) | 488.40 mm (19.23 インチ) | 510.00 mm (20.08 インチ) |
| 高さ(縮小時) | 378.40 mm (14.90 インチ) | 400.00 mm (15.75 インチ) |
| 幅 | 537.80 mm (21.17 インチ) | 611.60 mm (24.08 インチ) |
| 奥行 | 174.70 mm (6.88 インチ) | 174.70 mm (6.88 インチ) |
| 寸法(スタンドなし): | | |
| 高さ | 323.57 mm (12.74 インチ) | 365.84 mm (14.40 インチ) |
| 幅 | 537.80 mm (21.17 インチ) | 611.60 mm (24.08 インチ) |
| 奥行 | 56.74 mm (2.23 インチ) | 56.74 mm (2.23 インチ) |
| スタンド寸法: | | |
| 高さ(延長時) | 403.10 mm (15.87 インチ) | 403.10 mm (15.87 インチ) |
| 高さ(縮小時) | 364.82 mm (14.36 インチ) | 364.82mm (14.36 インチ) |
| 幅 | 257.00 mm (10.12 インチ) | 257.00 mm (10.12 インチ) |
| 奥行 | 174.70 mm (6.88 インチ) | 174.70 mm (6.88 インチ) |
| 重量: | | |
| 重量(パッケージング込み) | 7.88 kg (17.37 ポンド) | 9.46kg (20.85 ポンド) |
| 重量(スタンドアセンブリとケーブル込み) | 5.60 kg (11.82 ポンド) | 6.86 kg (15.12 ポンド) |
| 重量(スタンドアセンブリなし)(壁マウントまたは VESAマウント考慮時-ケーブルなし) | 3.88 kg (8.55 ポンド) | 5.18 kg (11.42 ポンド) |
| スタンドアセンブリの重量 | 1.52 kg (3.35 ポンド) | 1.52 kg (3.35 ポンド) |



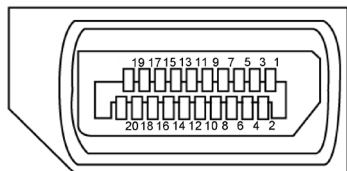
環境特性

| | |
|--|--|
| 適合規格 | |
| ・ ENERGY STAR 認定モニター ・ RoHSに適合 ・ BFR/PVC 減少モニター (回路基板は無 BFR/PVC 層で構成) ・ パネルのみ無ヒ素ガラスと水銀未使用 | |
| 温度: | |
| 稼働時 | 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) |
| 非稼働時 | -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) |
| 湿度: | |
| 稼働時 | 10% ~ 80% (結露なし) |
| 非稼働時 | 5% ~ 90% (結露なし) |
| 高度: | |
| 稼働時 | 5,000 m (16,404フィート) (最大) |
| 非稼働時 | 12,192 m (40,000フィート) (最大) |
| 熱散逸: | |
| S2422HZ | 467.77 BTU/時間 (最大) 43.09 BTU/時間 (オンモード) |
| S2722DZ | 508.75 BTU/時間 (最大) 62.35 BTU/時間 (オンモード) |



ピンの割当

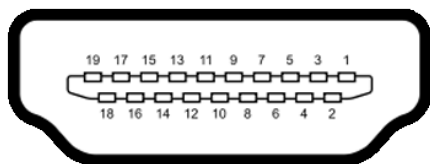
DPコネクタ (イン)



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの20ピン側 |
|------|-------------------|
| 1 | ML3(n) |
| 2 | GND |
| 3 | ML3(p) |
| 4 | ML2(n) |
| 5 | GND |
| 6 | ML2(p) |
| 7 | ML1(n) |
| 8 | GND |
| 9 | ML1(p) |
| 10 | ML0(n) |
| 11 | GND |
| 12 | ML0(p) |
| 13 | CONFIG1 |
| 14 | CONFIG2 |
| 15 | AUX CH (p) |
| 16 | GND |
| 17 | AUX CH (n) |
| 18 | ホットプラグ検出 |
| 19 | 復帰 |
| 20 | DP_PWR |



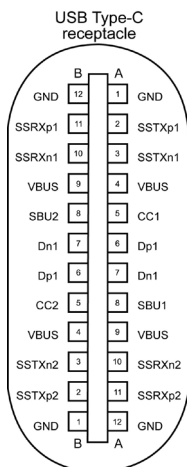
HDMIコネクタ



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの19ピン側 |
|------|-------------------|
| 1 | TMDSデータ2+ |
| 2 | TMDSデータ2シールド |
| 3 | TMDSデータ2- |
| 4 | TMDSデータ1+ |
| 5 | TMDSデータ1シールド |
| 6 | TMDSデータ1- |
| 7 | TMDSデータ0+ |
| 8 | TMDSデータ0シールド |
| 9 | TMDSデータ0- |
| 10 | TMDSクロック+ |
| 11 | TMDSクロックシールド |
| 12 | TMDSクロック- |
| 13 | CEC |
| 14 | 使用不可 (デバイス無接続) |
| 15 | DDCクロック (SCL) |
| 16 | DDCデータ (SDA) |
| 17 | DDC/CECグラウンド |
| 18 | +5V電源 |
| 19 | ホットプラグ検出 |



USB-Cコネクタ



| PIN | 信号 | PIN | 信号 |
|-----|--------|-----|--------|
| A1 | GND | B12 | GND |
| A2 | SSTXp1 | B11 | SSRXp1 |
| A3 | SSTXn1 | B10 | SSRXn1 |
| A4 | VBUS | B9 | VBUS |
| A5 | CC1 | B8 | SBU2 |
| A6 | Dp1 | B7 | Dn1 |
| A7 | Dn1 | B6 | Dp1 |
| A8 | SBU1 | B5 | CC2 |
| A9 | VBUS | B4 | VBUS |
| A10 | SSRXn2 | B3 | SSTXn2 |
| A11 | SSRXp2 | B2 | SSTXp2 |
| A12 | GND | B1 | GND |



ユニバーサル・シリアルバス (USB) インターフェース

このセクションでは、モニターで利用できるUSBポートについての情報を提供します。

注意: バッテリー充電 Rev. 1.2 準拠のデバイスを備えた USB ダウンストリームポート (SSR) バッテリーアイコン付きポート) で最大 2A。他の USB ダウンストリームポートでは最大 0.9 A です。

お使いのコンピューターには次の USB ポートがあります。

- ・ アップストリーム x1 - 背面。
- ・ ダウンストリーム x2 - 底面に 1、背面に 1。

注意: モニターの USB ポートは、モニターがオンモードかスタンバイモードにある場合にのみ機能します。スタンバイモードでは、USB ケーブル (C-C) が接続されている場合に USB ポートが正常に機能します。それ以外の場合は、「その他の USB 充電」の OSD 設定に従います。設定が「スタンバイ中にオン」になっている場合は USB は正常に機能し、それ以外の場合は無効になります。モニターをオフにしてから再びオンにした場合、接続されている周辺機器が通常の機能を再開するまでに数秒時間がかかる場合があります。

| 転送速度 | データレート | 最大消費電力 (各ポート) |
|----------|---------|---------------|
| スーパースピード | 5Gbps | 4.5W |
| ハイスピード | 480Mbps | 2.5W |
| フルスピード | 12Mbps | 2.5W |

USBダウンストリームポート



| ピン番号 | 信号名 |
|------|------------|
| 1 | VBUS |
| 2 | D- |
| 3 | D+ |
| 4 | GND |
| 5 | StdA_SSRX- |
| 6 | StdA_SSRX+ |
| 7 | GND_DRAIN |
| 8 | StdA_SSTX- |
| 9 | StdA_SSTX+ |
| シールド | シールド |



プラグアンドプレイ

モニターは、任意のプラグアンドプレイ対応システムに設置できます。モニターがディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコルを使用して、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を自動的に提供するため、コンピュータはコンピュータ自身で構成を実行し、モニター設定を最適化することができます。ほとんどのモニターの設置は自動で行われます。必要に応じて、異なる設定を選択できます。モニター設定を変更するための詳細については、[モニターを操作する](#)を参照してください。

LCD モニターの品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造工程中、1つまたは複数のピクセルが不変の状態に固定されることがよくありますが、これは目視で確認することが難しく、ディスプレイの品質や使用感に影響することはありません。LCD モニターのピクセルポリシーに関する詳細については、Dell サポートサイト <https://www.dell.com/pixelguidelines> をご覧ください。



エルゴノミクス

△ **注意:** キーボードは、不適切な使用や長時間の使用により、損傷する恐れがあります。

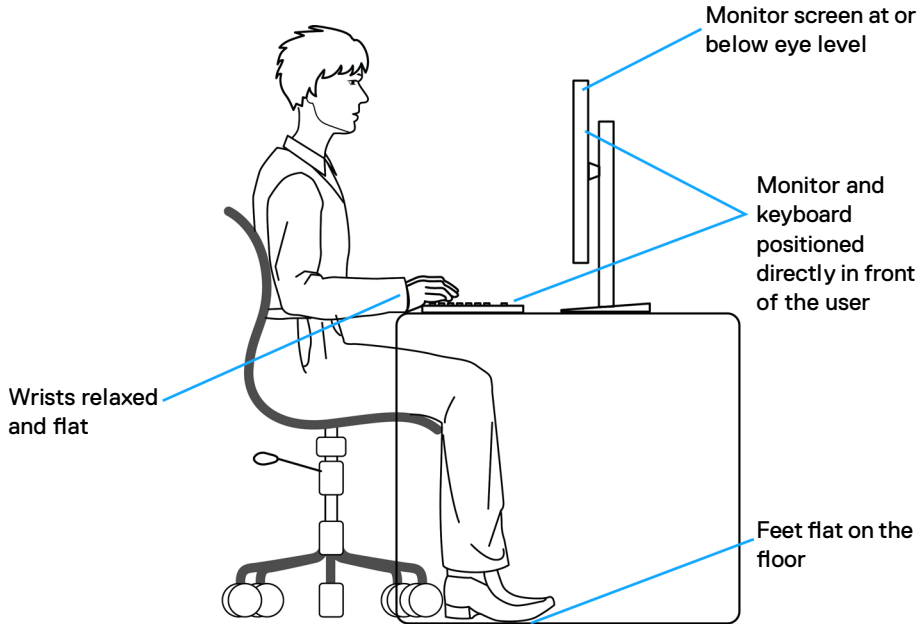
△ **注意:** モニター画面を長時間にわたって見続けると、目の疲れが生じる場合があります。

快適さと効率性のため、コンピュータワークステーションをセットアップして使用する際には、次のガイドラインに従ってください。

- ・ コンピュータは、作業中にモニターとキーボードが正面に来るよう配置します。キーボードを正しく配置するのに役立つ専用の棚も市販されています。
- ・ 長時間にわたるモニターの使用が原因で生じる眼精疲労や首/腕/背中/肩の痛みのリスクを減らすため、以下を推奨します：
 - ・ 画面は目から50～70センチ (20～28インチ) 程度離れた場所に設置してください。
 - ・ モニターを使って作業する時には、目を湿らせる、または濡らすため、頻繁にまばたきしてください。
 - ・ 2時間ごとに20分間の休憩を定期的かつ頻繁に取ってください。
 - ・ 休憩中は、モニターから目を離し、20フィート (約6メートル) 先にある物を最低でも20秒間は見つめてください。
 - ・ 首/腕/背中/肩の緊張を和らげるため、休憩中にストレッチを行ってください。
- ・ モニターの前に座る際には、モニター画面が目の高さ、または少し下に位置するよう調整してください。
- ・ モニターの傾き、コントラスト、輝度の設定を調整します。
- ・ 周囲の環境照明 (天井照明、デスクライト、近くの窓のカーテンやブラインドなど) を調整して、モニター画面への反射とグレアを最小限に抑えます。
- ・ 腰をしっかりと支えるチェアを使用してください。
- ・ キーボードやマウスを使用する際は、前腕と手首が水平に保たれ、ニュートラルで快適な位置にくるようにします。
- ・ キーボードやマウスの使用中は、手を置くためのスペースを常に確保してください。
- ・ 上腕は両方とも自然な状態にします。
- ・ 足を床に平らな状態で置いてください。
- ・ 座っている状態で、脚の重心が座席の前方ではなく、足裏に乗っているようにしてください。正しい姿勢を保つため、必要に応じて椅子の高さを調整するか、フットレストを使用してください。
- ・ 作業内容に変化をつけてください。長時間にわたって座って作業する必要がないよう、作業内容を組み立ててください。定期的に立ち上がり、歩き回るようにしてください。



- ・ 机の下は、障害物やケーブル・電源コードのない状態に保ち、快適に座る際に邪魔になったり、躓く危険性がないようにしてください。

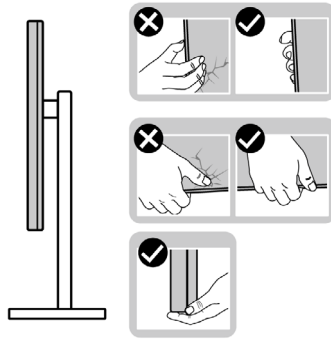


ディスプレイの取り扱いと移動

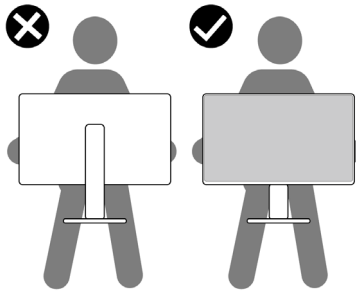
モニターを持ち上げたり移動したりする際には、モニターを安全に取り扱えるよう、以下のガイドラインに従ってください：

- ・ モニターを移動または持ち上げる前に、コンピュータとモニターの電源を切ってください。
- ・ モニターからすべてのケーブルを外します。
- ・ モニターを付属の梱包材と一緒に元の箱に戻します。
- ・ モニターを持ち上げたり移動したりする際には、過度の圧力がかからないよう、モニターの下端と側面をしっかりと持ってください。

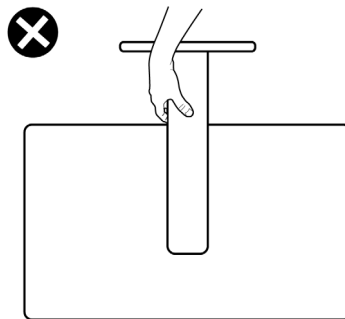




- ・ モニターを持ち上げたり移動したりする際には、画面が自分と反対側を向くよう、ディスプレイ部に圧力がかからないようにし、傷や破損を避けてください。



- ・ モニターを動かす際には、突然の衝撃や振動をモニターに与えないようご注意ください。
- ・ モニターを持ち上げたり動かしたりする際、スタンドベースやスタンドライザーを持ってモニターが逆さまにならないようにしてください。逆さまにすると、モニターが偶発的に破損したり怪我の原因となったりする可能性があります。



メンテナンスガイドライン

モニターのお手入れ

⚠ 警告: モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを外してください。

△ 注意: モニターを清掃する前に、**安全に関する注意事項**を読み、記載されている指示に従ってください。

ベストプラクティスを実践するため、モニターの開梱、清掃、または取り扱い中は、以下に記載されているリストの指示に従ってください:

- ・ 帯電防止画面を清掃するには、柔らかく清潔な布を水で軽く湿らせてください。可能であれば、帯電防止コーティング用の特別な画面クリーニング用ティッシュや液剤を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨洗浄剤、または圧縮空気は使用しないでください。
- ・ 軽く湿らせた柔らかい布を使用してモニターを清掃します。モニターに乳白色の膜が残る洗剤もあるため、洗剤は一切使用しないでください。
- ・ モニターの開梱時に白い粉がついた場合は、布で拭いてください。
- ・ 暗めの色のモニターは、明るい色のモニターよりも傷が付きやすく、白い傷が表れることがあるため、モニターの取り扱いには注意してください。
- ・ モニターで最良の画像品質を維持するため、ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用し、使用しない時にはモニターの電源を切るようにしてください。



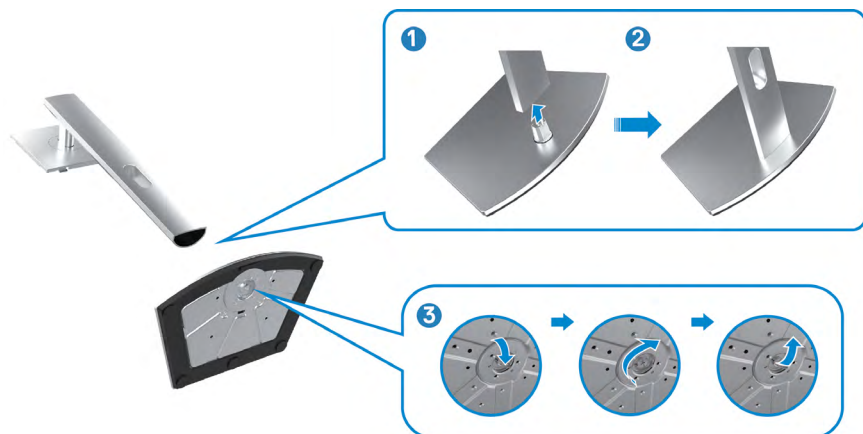
モニターを設置する

スタンドを取り付ける

- 注釈:工場からモニターを出荷する際には、スタンドライザーとスタンドベースが取り外された状態で出荷されます。
- 注釈:以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

モニタースタンドを取り付ける:

1. スタンドライザーとスタンドベースの位置を合わせて配置します。
2. スタンドベースの下部にあるネジハンドルを開いて、時計回りに回しスタンドアセンブリを固定します。
3. ネジハンドルを閉じます。



4. モニターの保護カバーを開いて、モニターの VESA スロットにアクセスします。



5. スタンドライザーのタブをディスプレイ背面カバーのスロットにスライドさせ、所定の位置に固定されるまでスタンドアセンブリを押し下げます。

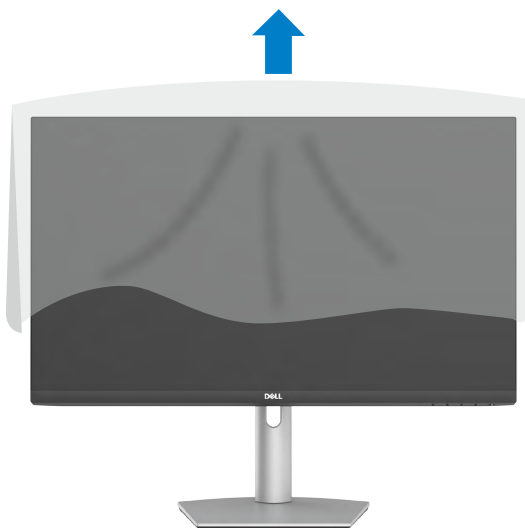


6. スタンドライザーを手に持ち、モニターを注意深く持ち上げて、平らな場所に置きます。



注釈: 偶発的な破損を防ぐため、モニターを持ち上げる際には、スタンドライザーをしっかりと持ってください。

7. モニターから保護カバーを持ち上げて外します。

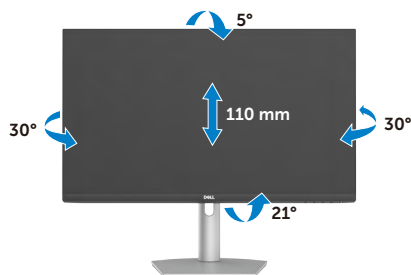


傾斜、回転、垂直延長調整機能を使用する

注釈: 以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

傾斜、回転、垂直延長調整機能

モニターにスタンドが付いている場合、最も見やすい角度になるようにモニターを傾けることができます。



注釈: 工場から出荷される際には、スタンドが取り外された状態になっています。

ディスプレイを回転させる

ディスプレイを回転させる前に、ディスプレイをスタンドライザーの上端まで垂直に引き延ばします。ディスプレイを後方に最大限傾けて、ディスプレイの底部に負担がかからないようにします。



注釈: ディスプレイを回転させている時に、Dell コンピュータでディスプレイ設定の横向きと縦向きを切り替える場合は、最新のグラフィックスドライバーをダウンロードし、インストールしてください。ダウンロードするには、<https://www.dell.com/support/drivers> にアクセスし、適切なドライバーを検索してください。



■ **注釈:** ディスプレイが縦向き設定で、3D ゲームなどグラフィックを多用するアプリケーションを使用する場合、パフォーマンスが低下することがあります。

回転後にコンピュータのディスプレイ設定を構成する

ディスプレイを回転させたら、以下の手順でコンピュータ上のディスプレイ設定を構成します。

■ **注釈:** モニターをDell 製以外のコンピュータで使用する場合、グラフィックスカード製造元のウェブサイトまたはコンピュータ製造元のウェブサイトにアクセスして、ディスプレイのコンテンツを回転させる方法をご確認ください。

ディスプレイ設定を構成する方法:

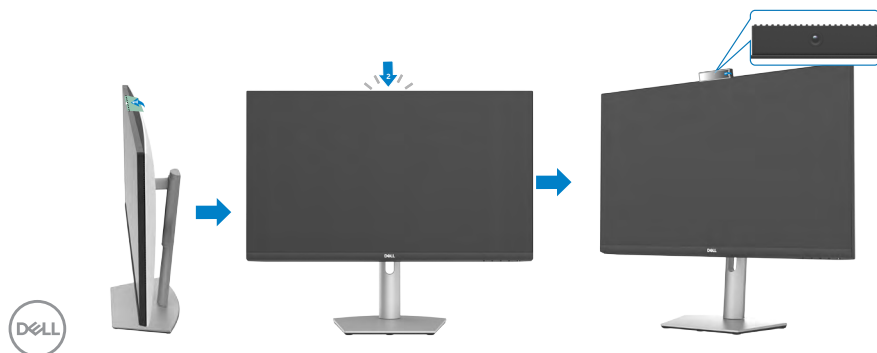
1. **Desktop (デスクトップ)** を右クリックし、**Properties (プロパティ)** をクリックします。
2. **Settings (設定)** タブを選択し、**Advanced (詳細)** をクリックします。
3. AMD グラフィックスカードを使用している場合は、**Rotation (回転)** タブを選んで、優先する回転を設定します。
4. nVidia グラフィックスカードを使用している場合は、**nVidia** タブをクリックし、左側のリストから **NVRotate (NV回転)** を選択し、優先する回転を選択します。
5. Intel グラフィックスカードを使用している場合は、Intel グラフィックスタブを選択し、**Graphic Properties (グラフィックプロパティ)** をクリックし、**Rotation (回転)** タブを選択後、優先回転を設定します。

■ **注釈:** 回転オプションが表示されない場合や正しく機能しない場合、<https://www.dell.com/support> にアクセスし、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードしてください。

モニターのウェブカメラを操作する

モニターのウェブカムを使用する場合は、以下の手順に従ってください。

1. モニターのカメラのラベルを剥がします。
2. ウェブカムの上部を押して、カメラを伸ばすか、縮めます。
3. ウェブカムの保護フィルムを剥がします。
4. 使用前にカメラを伸ばし、使用しない場合は縮めてプライバシーを保護してください。




モニターを接続する

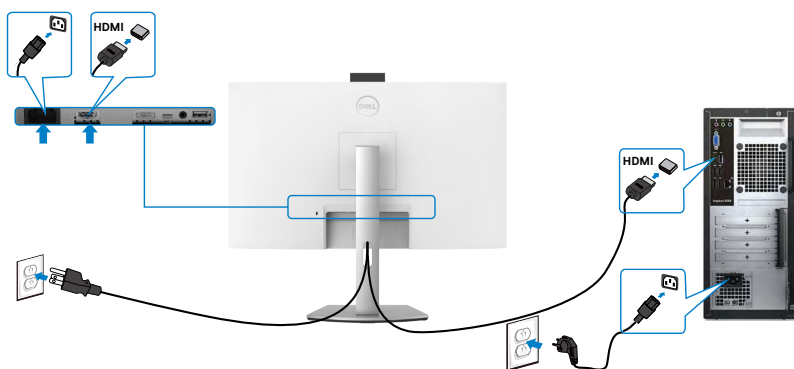
⚠ **警告:**以下のステップに従う前に、[安全に関する注意事項](#)に従ってください。

モニターをコンピュータに接続します：

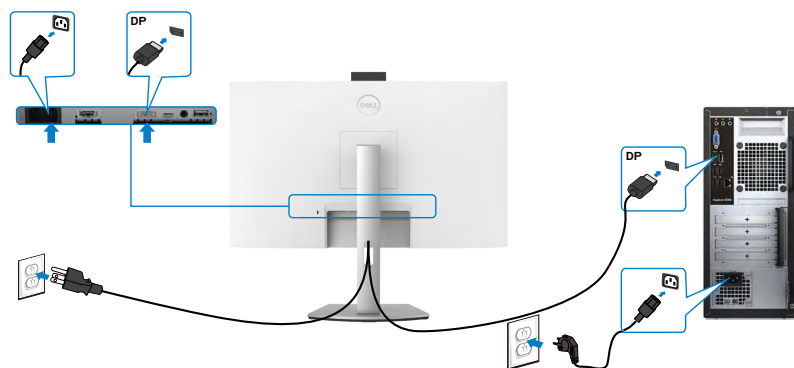
1. コンピュータの電源を切ります。
2. DisplayPort または HDMI そして USB-C ケーブルモニターとコンピュータを接続します。
3. モニターの電源を入れます。
4. モニターの OSD メニューで正しい入力ソースを選択し、コンピュータの電源を入れます。

 **注釈:** S2422HZ/S2722DZ のデフォルト設定は DisplayPort 1.2。DisplayPort 1.1 グラフィックカードの場合、正常に表示されない場合があります。

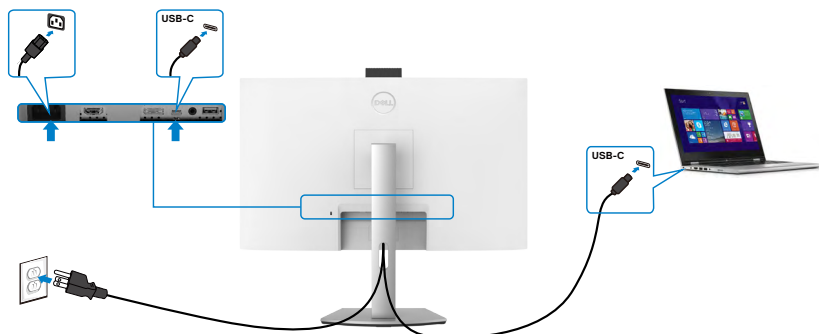
HDMI ケーブル (別売りのオプション) を接続する



DP ケーブル (別売りのオプション) を接続する



USB-Cケーブルの接続



モニターのUSB-Cポート：

- ・USB-C、または DisplayPort 1.2 を代わりに使用することができます。
- ・最大65 Wのプロファイルを備えたUSB Power Delivery (PD) をサポートしています。

注意：ノートパソコンの電力要件/実際の消費電力、またはバッテリーの残り電力ランタイムにかかわらず、Dell モニターは、ノートパソコンに最大65 Wの電源を供給するように設計されています。

| 定格電力 (PowerDeliveryを用いてUSB-Cを搭載するノートパソコン) | 最大充電電力 |
|---|--------|
| 45 W | 45 W |
| 65 W | 65 W |
| 90 W | 未対応 |



ケーブルを整理する



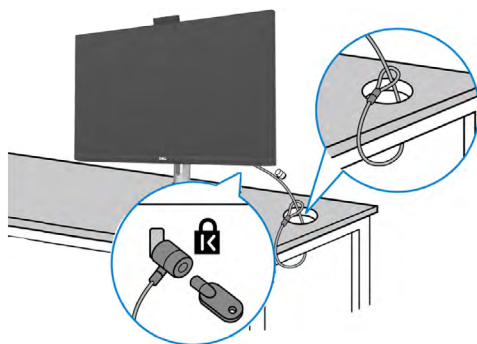
モニターとコンピューターへ必要なケーブルをすべて接続した後、図に示される要領でケーブルをすべてまとめてください。ケーブル接続の詳細情報は、[モニターを接続する](#)を参照してください。


Kensington ロックを使用してモニターを固定する(オプション)

セキュリティ固定スロットは、モニターの底部にあります。セキュリティ固定スロットの詳細は[セキュリティ固定スロット](#)を参照してください。

Kensington ロック(別売)の使用方法の詳細については、ロックに付属のマニュアルを参照してください。

Kensington セキュリティロックを使用して、モニターをテーブルに固定します。



 **注釈:** 画像は説明のみを目的としたイメージです。ロックの外観が異なる場合があります。



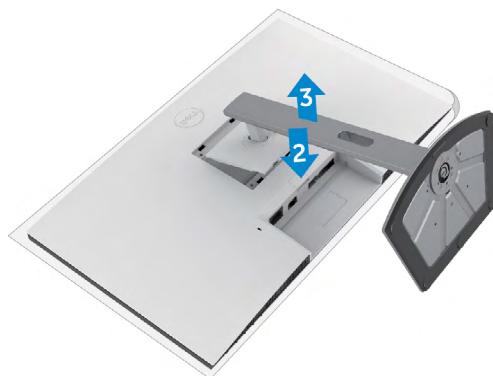
モニタースタンドを取り外す

△ **注意:** スタンドを取り外す際に液晶画面に傷が付かないように、モニターは、柔らかく清潔な表面に置くようにしてください。

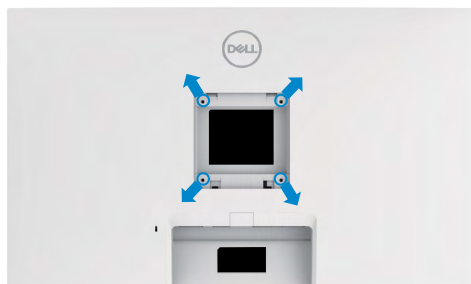
■ **注釈:** 以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

スタンドを取り外します:

1. モニターを柔らかい布かクッションの上に置きます。
2. スタンドリリースボタンを長押しします。
3. スタンドを持ち上げて、モニターから外します。



壁取り付け (オプション)



注釈: M4 x 11 mm ネジを使用して、モニターを壁取り付けキットに接続します。

VESA に対応した壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。

1. 柔らかい布かクッションを置いた水平で安定した台の上にモニターを置きます。
2. スタンドを外します。
3. フィリップス型プラススクリウドライバーを使用して、プラスチックカバーを固定している4本のネジを取り外します。
4. 壁取り付けキットにある取り付け用ブラケットをモニターに取り付けます。
5. 壁取り付けキットに付属の説明書に従って、モニターを壁に取り付けます。

注釈: 最低でもの重量/耐荷重能力を備えた UL、CSA または GS に記載されている壁取り付け用ブラケットのみを使用してください。

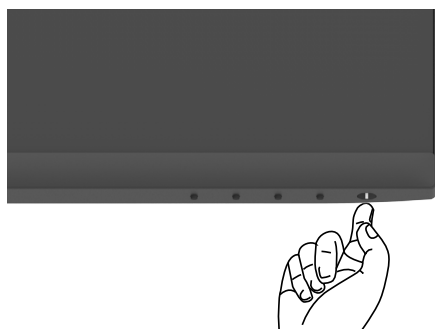
- S2422HZ: 15.52 kg (34.20 ポンド)
- S2722DZ: 20.72 kg (45.68 ポンド)



モニターを操作する

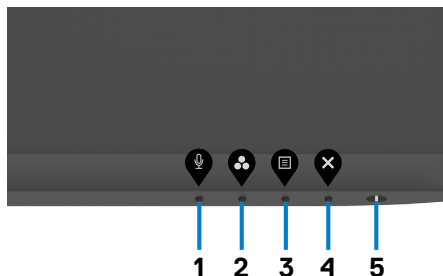
モニターの電源を入れる

● ボタンを押してモニターの電源を入れます。



フロントパネルコントロールの使用

モニターの下面にあるコントロールボタンを使用して、表示されている画像の詳細を調整します。コントロールボタンを使用すると、画面に数値が含まれたオンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューが表示されます。



次の表は、前面パネルのボタンを説明しています。

| フロント-パネルボタン | 説明 |
|---|--|
| 1  ショートカットキー： マイク | このボタンでマイクをミュートしたり、ミュートを解除できます。 注意： Dell S2422HZ または S2722DZ のミュートは、ミュートボタンを押して有効にできませんが、UCプラットフォームのミュートアイコンは同期されません(アイコンはミュート解除を示します)。 |
| 2  ショートカットキー： プリセットモード | このボタンを使用して、プリセットカラーモードの一覧から選択することができます。 |
| 3  メニュー | このボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDでオプションを選択します。 メニューシステムにアクセス を参照ください。 |
| 4  終了 | このボタンを使用して、メインメニューに戻ったり、OSDメインメニューを終了します。 |
| 5  電源ボタン(電源ステータス ライト付き) | モニターのオン・オフを切り替えます。 白くライトが点灯した場合、モニターがオンで正常に機能していることを示します。ライトが白く点滅する場合は、モニターがスタンバイモードであることを示しています。 |



OSDロック機能を使用する

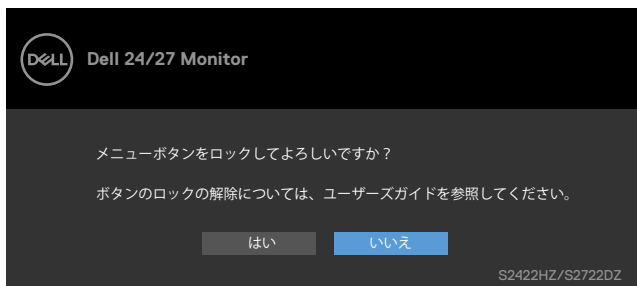
OSD メニューおよび/または電源ボタンへのアクセスを防ぐため、前面パネルのコントロールボタンをロックすることができます。


固定メニューを使用してボタンを固定する。

1. 次のオプションのいずれかを選択します。



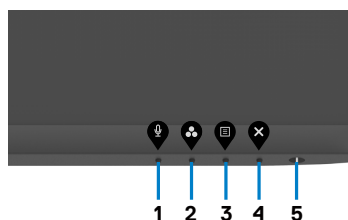
次のメッセージが表示されます。



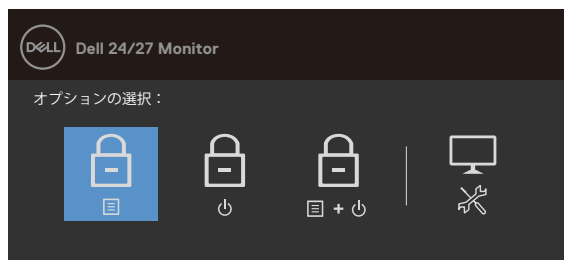
2. **はい**を選択して、ボタンをロックします。ロックすると、コントロールボタンを押した時にロックアイコンが表示されます 







フロントパネルのコントロールボタンを使用してボタンを固定する



1. ボタン4を4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。



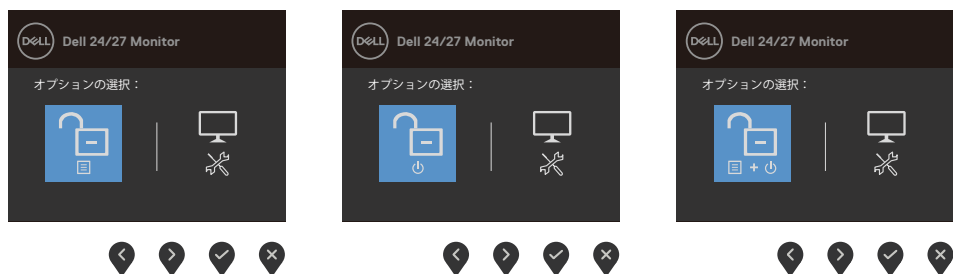
2. 次のオプションのいずれかを選択します。

| オプション | 説明 |
|---|---|
| 1  メニューボタンのロック | このオプションを選択して、OSDメニュー機能をロックします。 |
| 2  電源ボタンのロック | 電源ボタンをロックする場合は、このオプションを選択します。これで、ユーザーは電源ボタンを使ってモニターの電源を切ることができなくなります。 |
| 3  メニューボタンと電源ボタンのロック | このオプションを使用して、電源がオフにならないようにOSDメニューと電源ボタンをロックします。 |
| 4  組み込み診断 | このオプションを使用して、 内蔵の診断機能 を実行します。内蔵の診断機能を参照してください。 |




フロントパネルのボタンのロックを解除する

ジョイスティックを左方向に4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。下記の表は、前面コントロールボタンのロックを解除する際のオプションについて説明しています。




オプション


説明

- 1  このオプションを使用して、OSDメニュー機能のロックを解除します。


メニューボタンのロック解除

- 2  このオプションを使用して、モニターをオフにできるように、電源ボタンのロックを解除します。

電源ボタンのロック解除

- 3  このオプションを使用して、電源をオフにできるように、OSDメニューと電源ボタンのロックを解除します。

メニューボタンと電源ボタンのロック解除

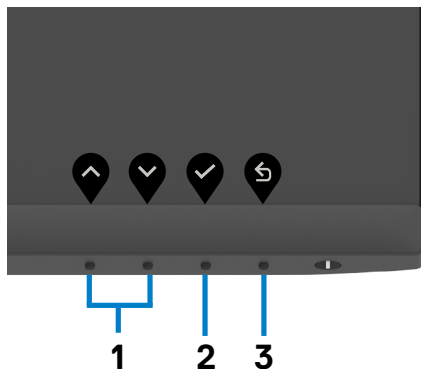
- 4  このオプションを使用して、**内蔵の診断機能**を実行します。内蔵の診断機能を参照してください。





組み込み診断



フロント-パネルボタン

モニターの前面上にあるボタンを使用して、画像設定を調整します。



| フロント-パネルボタン | 説明 |
|---|-------------------------------------|
| 1  上  下 | (増加)と下(減少)キーを使用して、OSDメニューの項目を調整します。 |
| 2  OK | 選択を確定するには OK キーを使用します。 |
| 3  戻る | 前のメニューに戻るには、戻るキーを使用します。 |



オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用する

メニューシステムにアクセスする

アイメニューとサブメニュー 説明
コンユー



**Brightness/
Contrast**
(輝度/コントラスト)

このメニューを使用して、輝度/コントラストの調整を有効にします。



Brightness (輝度) **Brightness (輝度)** は、バックライトの輝度を調整します (最小0、最大100)。

▶ ボタンを押して、輝度を上げます。

◀ ボタンを押して、輝度を下げます。

Contrast (コントラスト) 最初に **Brightness (輝度)** を調節してから、さらに調整が必要な場合にのみ **Contrast (コントラスト)** を調整します。

▶ ボタンを押してコントラストを増加させ、◀ ボタンを押してコントラストを下げます。

コントラストを 0 ~ 100 の間で調整します。

コントラストはモニターの明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。





Input Source (入力ソース)

Input Source (入力ソース)メニューを使用して、モニターに接続されているさまざまなビデオ入力の中から選択します。



USB-C

✓を押して、**USB-C**入力ソースを選択します。

DP

✓を押して、**DP**入力ソースを選択します。

HDMI

✓を押して、**HDMI**入力ソースを選択します。

Auto Select (自動選択)

自動選択を選択するには、✓を使用します。モニターが使用可能な入力ソースをスキャンします。

USB-Cの自動選択

USB-Cで自動選択の設定を可能にします。

- ・ **複数入力を求めるプロンプト**: ユーザーが切り替えるか、切り替えないかを選択するための「USB-Cビデオ入力切り替えメッセージ」を常に表示します。
- ・ **はい**: スケーラーは、USB-Cが接続されている間は、確認せずに常にUSB-Cビデオに切り替えます。
- ・ **いいえ**: スケーラーは別の利用可能な入力からUSB-Cビデオに自動的に切り替わりません。

Reset Input Source (入力ソースのリセット)

Input Source (入力ソース)メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルト状態にリセットします。





Color (色)

色設定モードを調整するには[カラー]メニューを使用します。



Preset Mode (プリセットモード)

Preset Modes (プリセットモード)を選択すると、リストの中から**Standard (標準)**、**Movie (映画)**、**FPS**、**RTS**、**RPG**、**Warm (温色)**、**Cool (冷色)**、**Custom Color (カスタマカラー)**を選択できます。



- ◆ **Standard (標準)**：デフォルトのカラー設定です。これはデフォルトのプリセットモードです。
- ◆ **映画**：映画に最適なカラー設定を読み込みます。
- ◆ **FPS**：一人称シューティングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- ◆ **RTS**：リアルタイム戦略ゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- ◆ **RPG**：ロールプレイングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。
- ◆ **Warm (ウォーム)**：高めの色温度でカラーを表示します。画面が赤/黄色の色合いになり、より暖かく見えます。
- ◆ **Cool (クール)**：低めの色温度でカラーを表示します。画面が青みがかかり、より涼しく見えます。
- ◆ **カスタムカラー**：手動でカラー設定を調整することができます。と ボタンを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。

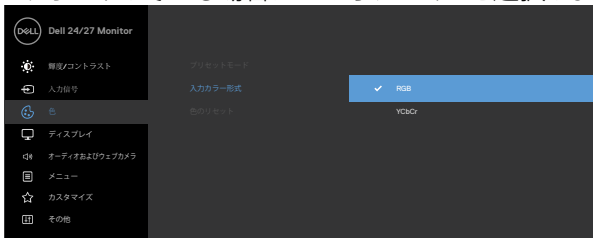


メニューとサブメニュー

Input Color Format (入力カラー形式)

ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

- ◆ **RGB**: HDMI、DP、USB-C ケーブルを使って、モニターをコンピュータ (または DVD プレーヤー) に接続している場合、このオプションを選択します。
- ◆ **YCbCr**: お使いのDVDプレーヤーがYCbCr出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。



色相

↑ または ↓ を使用して、色相を0-100で調整します。
注意: 色合い調整は、動画とゲームモードでのみ使用できます。

彩度

↑ または ↓ を使用して、彩度を0-100で調整します。
注意: 彩度調整は、動画とゲームモードでのみ使用できます。

Reset Color (色のリセット)

モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。



Display (ディスプレイ)

ディスプレイメニューを使用して画像を調整します。



Aspect Ratio (アスペクト比)

16:9、4:3、5:4の中から映像比を選択します。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|--|--|--|
| | Sharpness (シャープネス) | <p>画像をよりシャープまたはソフトに見せます。</p> <p> または  を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。</p> |
| | 応答時間 Reset Display (ディスプレイのリセット) | <p>応答時間をノーマル、高速、エクストリームに設定できます。</p> <p>ディスプレイ設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。</p> |
|  | Audio & Webcam (オーディオおよびウェブカム) | <p>Audio & Webcam(オーディオおよびウェブカム)メニューを使用して設定を調整します。</p> |
| | |  |
| | |  |
| | Volume (音量) | <p>スピーカーの音量を上げることができます。</p> <p> と  ボタンを使用して、音量を「0」から「100」へ調整します。</p> |
| | Speaker (スピーカー) | <p>スピーカー機能の Mute(ミュート)または Unmute(ミュート解除)を選択します。</p> |
| | Microphone (マイク) | <p>マイク機能の Mute(ミュート)または Unmute(ミュート解除)を選択します。</p> |
| | Webcam (ウェブカム) | <p>ウェブカム機能の Enable(有効)または Disable(無効)を選択します。</p> |
| | Status Indicator (ステータスのインジケータ) | <p>Off(オフ)または Temporary(一時的)を使用して、スピーカー、マイク、ウェブカムのステータスを表示できます。</p> |
| | Audio Profile (オーディオのプロファイル) | <p>再生機能を選択します。</p> |



アイコンメニューとサブメニュー 説明

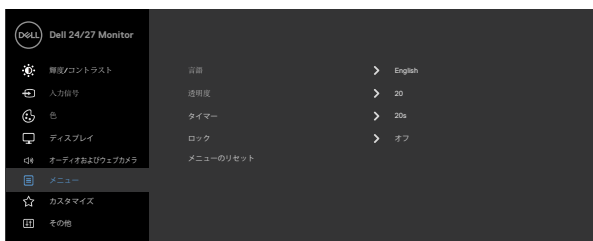
Reset Audio & Webcam (オーディオおよびウェブカムのリセット)

Audio & Webcam (オーディオおよびウェブカム) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。
注意: USB ケーブルのオーディオ音量は Windows の音量と同期され、デフォルト設定には戻りません。
注意: ユーザーを HDMI ケーブルへ接続してオーディオを再生し、続いて USB-C ケーブルを接続すると、オーディオチャネルはエコーキャンセルに移行します。モニターの音量もコンピューターと同期します。



Menu (メニュー)

このオプションを選択して、OSD の言語やメニューが画面に表示される長さなどの OSD の設定を調整します。



Language (言語)



8つある言語の中の1つの言語にOSDディスプレイを設定します。
(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語または日本語)。

Transparency (透明度)

このオプションを選択して、 と  を使用してメニューの透明度を変更します (最小値 0/最大値 100)。

Timer (タイマー)

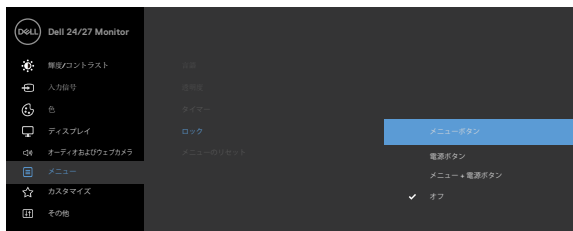
OSD Hold Time (OSD表示時間): ボタンを押した後、OSD がアクティブ状態を維持する長さを設定します。


 と  ボタンを使用して、スライダーを1秒刻みで5-60秒で調整します。



ロック

モニターのコントロールボタンをロックすることで、他者がコントロールにアクセスできないようにすることができます。また、複数台のモニターの水平2分割セットアップを誤って実行してしまうこともなくなります。



- **メニューボタン**: OSDを通してメニューボタンをロックします。
- **電源ボタン**: OSDを通して電源ボタンをロックします。
- **メニュー + 電源ボタン**: OSDを通してメニューボタンと電源ボタン全てをロックします。
- **無効にする**: 電源ボタンの横にある  ボタンを4秒間押し続けて、ボタンのロックを解除します。

Reset Menu (メニューのリセット)

Reset (リセット) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。



Personalize (個人用設定)



Shortcut key 1 (ショートカットキー-1)

Shortcut key 2 (ショートカットキー-2)

Preset Modes (プリセットモード)、**Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)**、**Input Source (入力ソース)**、**Aspect Ratio (アスペクト比)**、**Volume (音量)**、**Speaker (スピーカー)**、**Microphone (マイク)**、**Webcam (ウェブカム)** をショートカットキーとして設定します。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|---|---|
| | Power Button LED (電源ボタン LED) | 電源ライトの状態を設定してエネルギーを節約できます。 |
| | USB-C Charging (USB-C充電) | モニターが電源オフモードの時の USB-C Charging (USB-C充電) 充電機能を有効または無効にできます。 |
| | Other USB Charging (その他のUSB充電) | モニターがスタンバイモードの時の Other USB Charging (その他のUSB充電) 機能を有効または無効にできます。 |
| | Reset Personalization (個人用設定のリセット) | Personalization (個人用設定) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。 |



Others (その他)

DDC/CI, LCD conditioning (LCD 調節) などの OSD 設定を調整する場合は、このオプションを選択します。



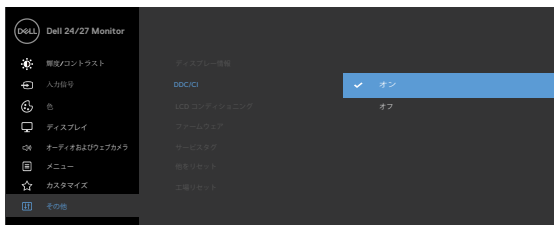
Display Info (情報を表示)

モニターの現在の設定を表示します。

DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイデータチャネル/コマンドインターフェース)を使用することで、コンピュータのソフトウェアを経由してモニターのパラメーター(輝度、カラーバランスなど)を調節できるようになります。**Off (オフ)**を選択すれば、この機能を無効にできます。

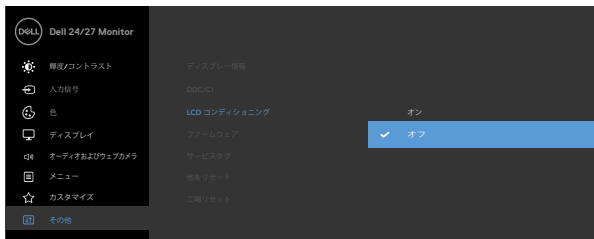
ユーザーの使用感とモニターのパフォーマンスを最適の状態にする場合は、この機能を有効にしてください。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|-------------|----|
|------|-------------|----|

| |
|--------------------------------------|
| LCD Conditioning (LCD 調節) |
|--------------------------------------|

残像によるささいな問題を軽減するのに役立ちます。残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。**On(オン)**を選択すれば、この機能を有効にできます。



| |
|-------------------------------|
| Firmware (ファームウェア) |
|-------------------------------|

モニターのファームウェアバージョンを表示します。

| |
|---------------------------------|
| Service Tag (サービスタグ) |
|---------------------------------|

サービスタグを表示します。サービスタグは一意的な英数字識別子であり、Dell 側で製品の仕様を識別して保証情報にアクセスできるようにするためのものです。

注釈:サービスタグは、カバーの背面に貼られたラベルにも印刷されています。

| |
|------------------------------------|
| Reset Others (その他のリセット) |
|------------------------------------|

Others(その他)メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

| |
|---------------------------------------|
| Factory Reset (工場出荷時にリセット) |
|---------------------------------------|

すべてのプリセット値を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。



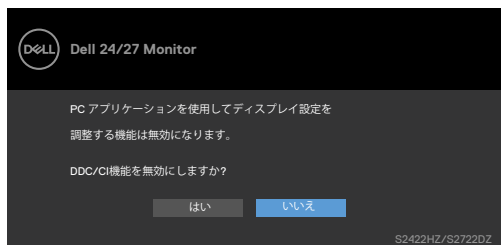
OSD 警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードに対応していない場合に、次のメッセージが表示されます：



これは、モニターがコンピュータから受信する信号と同期できないことを意味しています。このモニターでアドレス可能な水平および垂直周波数範囲については、[モニターの仕様](#)を参照してください。推奨されるモードは**1920 x 1080 (S2422HZ) / 2560 x 1440 (S2722DZ)**。

以下のメッセージは、DDC/CI 機能が無効になる前に表示されます。



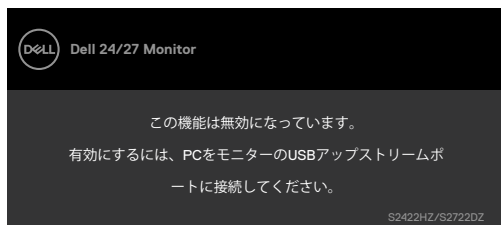
モニターがパワーセーブモードに入ると、次のメッセージが表示されます：



OSD にアクセスする場合は、コンピュータをオンにしてモニターをウェイクアップ状態にしてください。



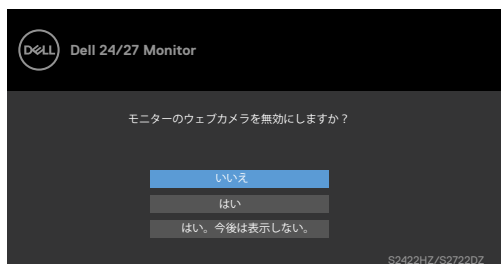
USB-C アップストリームケーブルが接続されていない場合、マイクとウェブカムのモジュールは動作せず、以下のメッセージが表示されます。



ウェブカムのみを無効にすると、以下のメッセージが表示されます。

デフォルトでは、**No (いいえ)**が選択されています。**Yes (はい)**または**Yes, and do not ask again (はい、今後は表示しない。)**を選択できます。

オーディオとウェブカムをリセットしたり、工場出荷状態へリセットすると、以下のメッセージが再度表示されます。



OSD でウェブカムを無効にしたり、ウェブカムを押ししたり引き込んだりすると、以下のメッセージが表示されます。

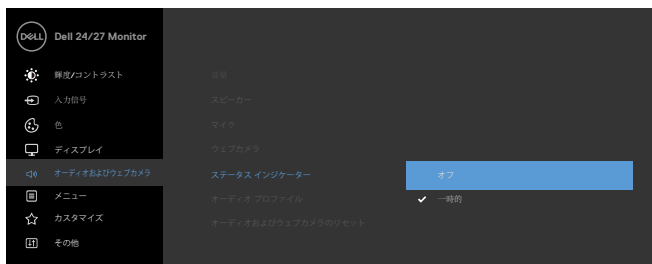


ステータスインジケータは画面上方で中央に表示される半透明のボックスであり、スピーカー、マイク、ウェブカムのステータスを表示します。

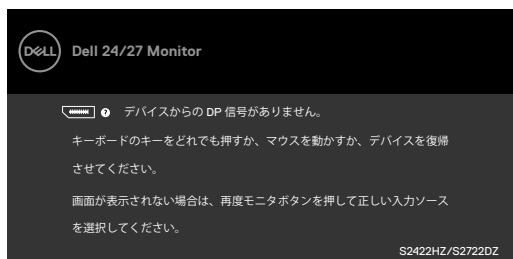
スピーカー、マイク、ウェブカムのステータスを変更したり、ウェブカムのモジュールから出入りすると、ステータスのインジケータが2秒間表示されます。



無効にする場合は、OSDメニューから「Audio & Webcam (オーディオおよびウェブカメラ) -> Status Indicator (ステータスインジケータ) -> Off (オフ)」を選択します。



電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力に応じて次のメッセージが表示されます：



DP代替モードをサポートしているケーブルがモニターに接続している間、次の条件でメッセージが表示されます。

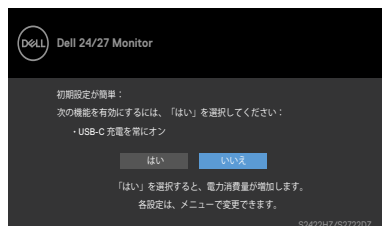
- **USB-C の自動選択**が複数入力のプロンプトに設定されている場合。
- USB-C ケーブルがモニターに接続されている場合。



OSD メニューのOther feature (その他の機能) で**Factory Reset (工場出荷時リセット)**を選択すると、次のメッセージが表示されます。



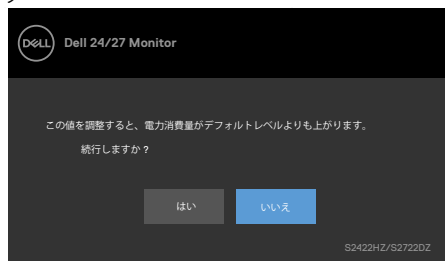
「**Yes (はい)**」を選択してデフォルト設定へリセットすると、次のメッセージが表示されます。



パーソナライズ機能内にある OSD の「**Standby Mode (スタンバイモード)**」の「**On (オン)**」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



輝度レベルをデフォルトレベル以上 (デフォルトレベルは 75%) に調節すると、次のメッセージが表示されます:



- ・ユーザーが「はい」を選択すると、電源メッセージは一度だけ表示されます。
- ・ユーザーが「いいえ」を選択すると、電源警告メッセージがもう一度ポップアップ表示されます。



- ・電源警告メッセージは、ユーザーがOSDメニューから工場出荷時の状態にリセットした場合にのみ再び表示されます。

USB-C、HDMI、DP 入力のいずれかが選択されており、それに対応するケーブルが接続されていない場合、次に示されているようなダイアログボックスが表示されます。



または



または



注釈：マイクとウェブカムが動作するには、コンピューターからモニターへUSB-C-C アップストリームケーブルを接続する必要があります。

詳細については [トラブルシューティング](#) を参照してください。



最大解像度を設定する

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1の場合：

1. Windows 8 または Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択して、クラシックデスクトップに切り替えます。Windows Vista および Windows 7 の場合は、この手順は省略してください。
2. デスクトップを右クリックして**Screen Resolution (画面解像度)**をクリックします。
3. **画像解像度**のドロップダウンリストをクリックし、**1920 x 1080 (S2422HZ)/2560 x 1440 (S2722DZ)** を選択します。
4. **OK**をクリックします。

Windows 10の場合：

1. デスクトップを右クリックして**Display Settings (ディスプレイ設定)**をクリックします。
2. **Advanced display settings (詳細ディスプレイ設定)**をクリックします。
3. **Resolution (解像度)**のドロップダウンリストをクリックして、**1920 x 1080 (S2422HZ) / 2560 x 1440 (S2722DZ)** を選択します。
4. **Apply (適用)**をクリックします。

オプションに **1920 x 1080 (S2422HZ)/2560 x 1440 (S2722DZ)** が表示されない場合、グラフィックスドライバーを更新する必要がある可能性があります。コンピュータに応じて、次のいずれかの手順を実行します。

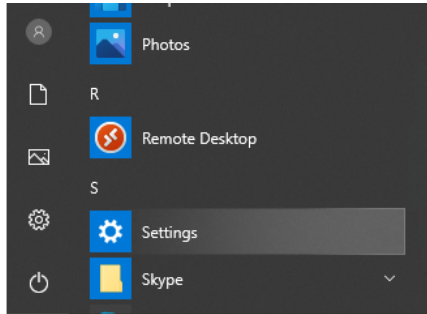
1. Dell デスクトップまたはポータブルコンピュータを使用している場合：<https://www.dell.com/support> にアクセスし、サービスタグを入力して、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードします。
2. Dell 製以外のコンピュータ（ラップトップまたはデスクトップ）を使用している場合：
 - ・ コンピュータ製造元のサポートサイトにアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。
 - ・ グラフィックカード製造元のウェブサイトアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。



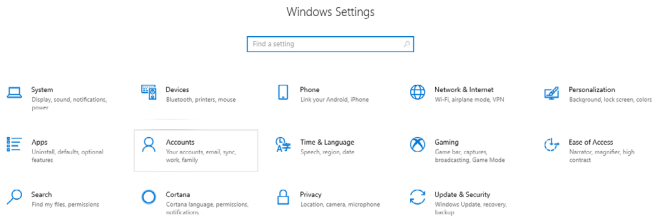
Windows Helloの設定

Windows 10内で、

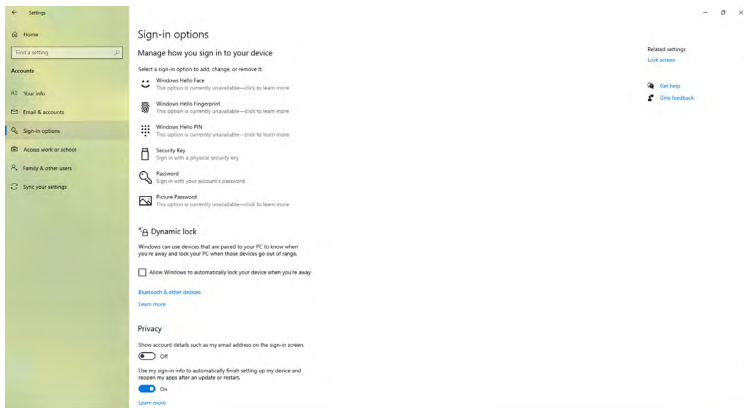
1. Windowsスタートメニューをクリックし、**Settings (設定)** をクリックします。



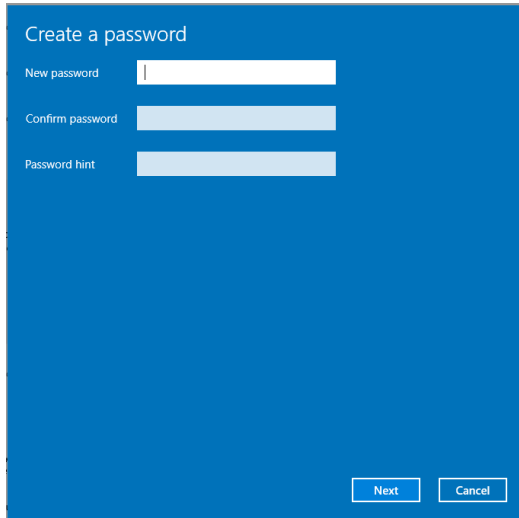
2. **Accounts (アカウント)** をクリックします。



3. **Sign-in options (サインイン オプション)** をクリックします。Windows Helloを利用する前に、PINを設定する必要があります。

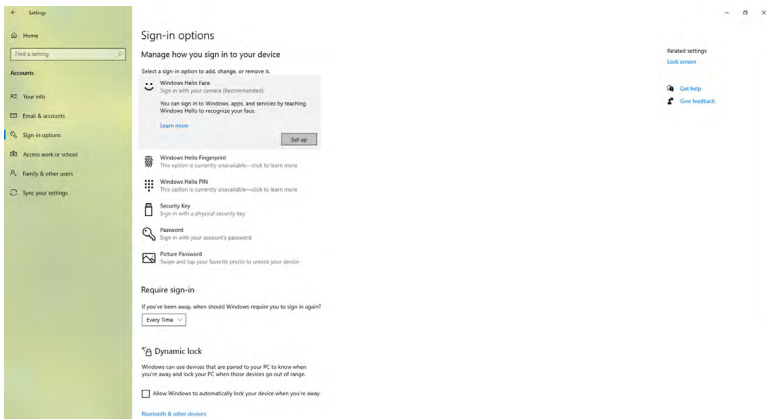


4. PINの下にある**Add(追加)**をクリックして、**Set up a PIN(PINのセットアップ画面)**を開きます。新しいPINを入力してPINを確認し、OKをクリックします。

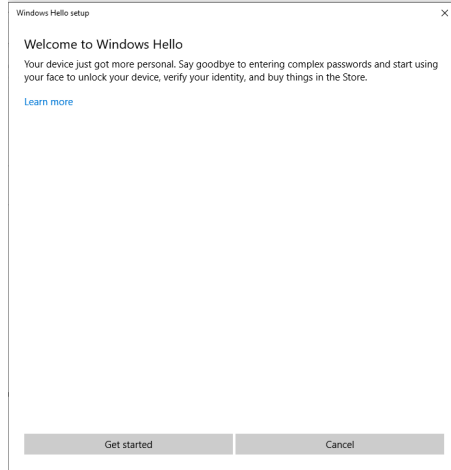


PINの設定が完了したら、Windows Hello をセットアップするオプションのロックが解除されます。

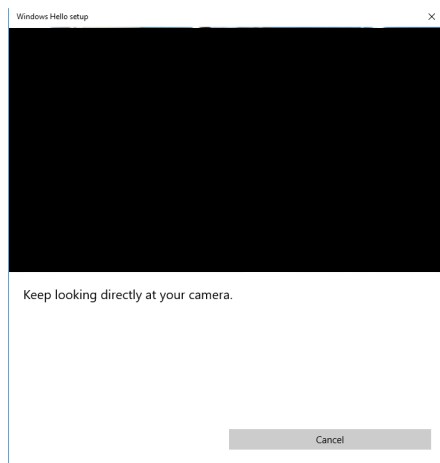
5. 完了すると、Windows Helloを設定するオプションのロックが解除されます。**Windows Hello**にある**Set up(セットアップ)**をクリックし、**Windows Hello setup(Windows Hello セットアップ)**画面を開きます。



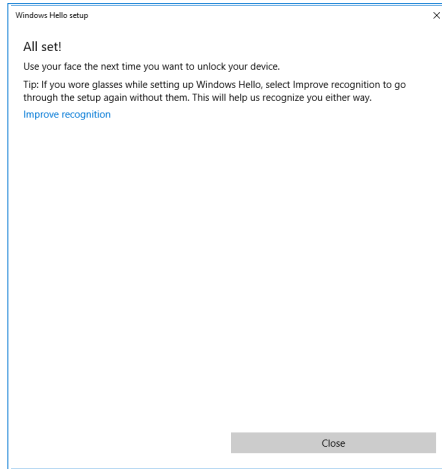
6. Get Started (使用開始) をクリックします。



7. 画面を直接見て、顔が画面に表示されるフレームの中央にくるように位置を変えます。その後、ウェブカメラにあなたの顔が登録されます。



8. 次のメッセージが表示されたら、**Close (閉じる)** をクリックして **Windows Hello setup (Windows Hello セットアップ)** 画面を終了します。



9. Windows Hello のセットアップが完了したら、認識機能を向上させることもできます。必要であれば、**Improve recognition (認識の向上)** をクリックします。

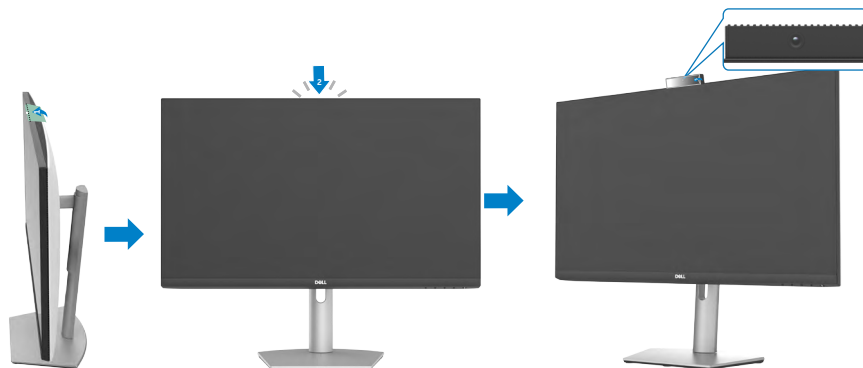


モニターでウェブカムを有効にする

ウェブカムを動作させるために、付属の USB-C - USB-C ケーブルをコンピューターとモニターの間に接続します。コンピューターが USB-C をサポートしていない場合は、USB Type-A - USB-C ケーブル(別売り)を使用してください。

以下の手順で、モニター上のウェブカムを有効にします。

1. USB ケーブルがモニターとコンピューターの間に接続されているか、確かめてください。
2. ウェブカムの上部を押して、カメラを伸ばします。



3. Windows 10/8.1/8 でカメラを有効にします。
 1. スタートを右クリックして設定を選択します。
 2. Windows 設定で、プライバシーをクリックします。
 3. 画面の左側で、カメラをクリックします。
 4. アプリにカメラへのアクセスを許可するを有効にしてください。
 5. 下へスクロールして、デスクトップアプリにカメラへのアクセスを許可するを有効にしてください。
4. モニターの OSD (オンスクリーンディスプレイ) でウェブカムを有効にします。
5. Microsoft Teams、Skype、Zoom などのアプリで DELL Monitor RGB Webcam をデフォルトのカメラに指定してください。これらのアプリでウェブカム設定を変更する方法は、ソフトウェアメーカーのウェブサイトをご覧ください。



モニターのス피ーカーを有効にする

コンピューターが複数のスピーカーに接続されており、モニターのスピーカーをデフォルトに設定する場合は、次の手順に従ってください。

1. コンピューターとモニターの間には HDMI、DisplayPort、または USB-C ケーブルが接続されていることを確かめてください。
注意: モニターは USB-C - USB-C ケーブルが同梱されています。HDMI または DisplayPort ケーブルは別途お買い求めください。
2. デフォルトの再生または出力デバイスを設定します。
 - a. タスクバーで、通知エリアの音量またはスピーカーアイコンを右クリックして、サウンド設定を開くを選択します。
 - b. 出力デバイスを選択するでエコーキャンセリングスピーカーフォン S2422HZ またはエコーキャンセリングスピーカーフォン S2722DZ を選択します。デフォルトの出力デバイスが DELL S2422HZ または DELL S2722DZ に設定されている場合、モニターの内蔵マイクは使用できません。DELL S2422HZ または DELL S2722DZ 出力デバイスはオーディオ再生のみに適しています。
 - c. 通知エリアの音量またはスピーカーアイコンをクリックして、好みの音量に調整します。
3. モニターの OSD (オンスクリーンディスプレイ) でスピーカーのミュートを解除します。
4. モニターの OSD (オンスクリーンディスプレイ) で音量を 100 に設定します。
5. Microsoft Teams、Skype、Zoom などのアプリでは、エコーキャンセリングスピーカーフォン S2422HZ またはエコーキャンセリングスピーカーフォン S2722DZ をデフォルトの再生または出力デバイスに選択してください。これらのアプリでスピーカーまたは音量設定を変更する方法は、ソフトウェアメーカーのウェブサイトをご覧ください。
6. Microsoft Teams、Skype、Zoom などのアプリでスピーカーの音量設定を調整します。これらのアプリで音量設定を変更する方法は、ソフトウェアメーカーのウェブサイトをご覧ください。



モニターでマイクを有効にする

モニターの内蔵マイクを動作させるために、付属の USB-C - USB-C ケーブルをコンピューターとモニターの間に接続します。コンピューターが USB-C をサポートしていない場合は、USB Type-A - USB-C ケーブル (別売り) を使用してください。

コンピューターが複数のマイクに接続されており、モニターのマイクをデフォルトに設定する場合は、次の手順に従ってください。

1. USB ケーブルがモニターとコンピューターの間に接続されているか、確かめてください。
2. Microsoft Windows でデフォルトの入力または録音デバイスを設定します。
 - a. 通知エリア (右下) で音量アイコンを右クリックして録音デバイスを選択します。
 - b. エコーキャンセリングマイク S2422HZ またはエコーキャンセリングマイク S2722DZ を録音デバイスに選択して OK をクリックします。
3. モニターの OSD (オンスクリーンディスプレイ) でマイクのミュートを解除します。
4. Microsoft Teams、Skype、Zoom などのアプリでは、エコーキャンセリングマイク S2422HZ またはエコーキャンセリングマイク S2722DZ をデフォルトのマイクまたは入力デバイスに選択してください。これらのアプリでマイクまたは入力設定を変更する方法は、ソフトウェアメーカーのウェブサイトをご覧ください。
5. Microsoft Teams、Skype、Zoom などのアプリでマイクの音量設定を調整してマイクのミュートを解除します。これらのアプリでマイクまたは入力設定を変更する方法は、ソフトウェアメーカーのウェブサイトをご覧ください。



トラブルシューティング

⚠ **警告:**以下のステップに従う前に、**安全に関する注意事項**に従ってください。

セルフテスト

モニターには、モニターが正常に機能しているかどうかを確認できるセルフテスト機能が備わっています。モニターとコンピュータが適切に接続されているにもかかわらず、モニター画面が暗い状態のままの場合は、次の手順を実行してモニターのセルフテストを行ってください：

1. コンピュータとモニターの両方の電源を切ります。
2. コンピュータの背面からビデオケーブルを外します。適切なセルフテスト動作を確保するため、コンピュータの背面にあるすべてのデジタルケーブルとアナログケーブルを外してください。
3. モニターの電源を入れます。

モニターがビデオ信号を検出できなくても正常に動作している場合は、以下のダイアログボックスが画面上に表示されます（黒いバックグラウンドの上に表示）。セルフテストモード中の場合、電源 LED は白いままです。選択した入力に応じて、以下に示されているダイアログのいずれかが画面上に連続で表示されます。



または



または





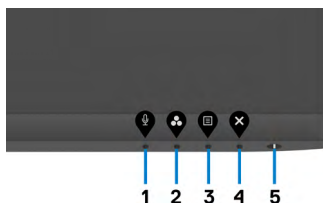
このダイアログボックスは、ビデオケーブルが切断されたり損傷したりした場合、通常のシステム動作中にも表示されます。

4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再び接続してから、コンピュータとモニターの両方の電源を入れます。


前記の手順を実行してもモニター画面が空白のままの場合は、ビデオコントローラーとコンピュータを確認してください。モニターは正常に機能しています。

内蔵されている診断機能

モニターには、発生している画面の異常がモニターに固有の問題なのか、コンピュータやビデオカードに固有の問題なのかを判断するのに役立つ診断ツールが内蔵されています。



内蔵診断を実行する方法:

1. 画面が清潔であることを確認します (画面の表面にほこりや粒子がついていない状態)。
2. ボタン4を4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。
3. 内蔵診断  オプションを選択します。グレー画面が表示されます。
4. 注意して画面の異常を調べます。
5. フロントパネルのボタン1をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか調べます。
7. ステップ5と6を繰り返し、緑、青、黒、白の画面で表示を調査します。

白い画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン1を押します。内蔵診断ツールを使用しても画面に異常が検出されない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピュータを確認してください。



よくある問題

以下の表で、発生する可能性のある、よくあるモニター上の問題に関する一般的な情報と、考えうる解決方法について説明します。

| よくある問題 | 経験する事項 | 考えうる解決方法 |
|----------------------|------------------|--|
| ビデオ/電源がない LED がオフの状態 | 画像が表示されない | <ul style="list-style-type: none">・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されていることを確認します。・他の電気機器を使用して、コンセントが適切に機能しているか確認します。・電源ボタンをしっかりと最後まで押しているか確認します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。 |
| ビデオ/電源がない LED がオフの状態 | 画像が表示されないか、輝度がない | <ul style="list-style-type: none">・OSD を使用して、輝度とコントラストを増やします。・モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。・内蔵診断機能を実行します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。 |
| ピクセルが欠けている | 液晶画面に斑点がある | <ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dell モニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dell サポートサイト https://www.dell.com/pixelguidelines をご覧ください。 |
| 張り付いたピクセル | 液晶画面に明るい斑点がある | <ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dell モニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dell サポートサイト https://www.dell.com/pixelguidelines をご覧ください。 |



| よくある問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|-----------------------|----------------------------|--|
| 輝度の問題 | 画像が暗すぎる、または明るすぎる | <ul style="list-style-type: none"> ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・OSD を使用して、輝度とコントラストを調整します。 |
| 安全に関連した問題 | 煙または火花が目で確認できる | <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルシューティングはしないでください。 ・至急 Dell までお問い合わせください。 |
| 一時的に停止する問題 | モニターの誤作動でオン&オフになる | <ul style="list-style-type: none"> ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・モニターのセルフテスト機能チェックを実行して、セルフテストモードでも一時的に停止する問題が発生するか確認します。 |
| 色が欠けている | 画像に欠けた色がある | <ul style="list-style-type: none"> ・モニターのセルフテストを実行します。 ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。 |
| 色に誤りがある | 画像の色が良くない | <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションに応じて、OSD のカラーメニューのプリセットモード設定を変更します。 ・OSD のカラーメニューのカスタムカラーにある R/G/B 値を調整します。 ・OSD のカラーメニューで、入力カラー形式を PC RGB または YCbCr に変更します。 ・内蔵診断機能を実行します。 |
| モニターに長時間映された静止画像からの残像 | 表示された静止画像からのかすかな影が画面に表示される | <ul style="list-style-type: none"> ・画面がアイドル状態になってから数分後に、画面がオフになるように設定します。これらの設定は、Windows の電源オプションまたは Mac の省エネルギー設定で調整できます。 ・ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用することもできます。 |



| よくある問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|-----------------|---|---|
| ウェブカムが動 作しない | <ul style="list-style-type: none"> ウェブカムのモジュールが上に伸びない USB ケーブルが接続されていないか、正しい USB ソースが選択されていない | <ul style="list-style-type: none"> ウェブカムのモジュールを縮めます。 USB ケーブルを接続します。 コンピューターでモニターのウェブカムをデフォルトに選択します。 |

製品に固有の問題

| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|---------------------------|--------------------------------|--|
| 画面の画像が 小さすぎる | 画像は画面の中央に表示されるが、表示エリア全体に表示されない | <ul style="list-style-type: none"> OSD のディスプレイメニューにあるアスペクト比設定を確認します。 モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 |
| フロントパネルにあるボタンでモニターを操作できない | OSD が画面に表示されない | <ul style="list-style-type: none"> モニターの電源を切り、モニターの電源ケーブルを抜いてから、再び差し込み、モニターの電源を入れます。 |
| ユーザーコントロールを押しても入力信号がない | 画像が表示されない、LED ライトは白色 | <ul style="list-style-type: none"> 信号ソースを確認してください。マウスを動かすか、キーボードのキーを押して、コンピューターがパワーセーブモードになっていないかを確認します。 信号ケーブルが正しく接続されているか確認します。必要に応じて、信号ケーブルを接続し直します。 コンピューターまたはビデオプレーヤーをリセットします。 |
| 画像が画面全体に表示されない | 画像が画面の高さまたは幅全体を埋めることができない | <ul style="list-style-type: none"> DVD のビデオ形式 (アスペクト比) が異なるために、モニターにフル画面で表示される場合があります。 内蔵診断機能を実行します。 |



| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|--|---------|---|
| コンピューターへDPで接続すると画像が表示されない | 黒い画面 | <ul style="list-style-type: none"> ・お使いのグラフィックスカードが認定を受けている DP 1.1a または DP 1.2を確認します。最新のグラフィックスカードドライバをダウンロードおよびインストールしてください。 ・DP 1.1a グラフィックスカードの中には、DP 1.2 モニターに対応していないものがあります。OSD メニューにて、Input Source (入力ソース) を開きます。 |
| コンピューター、ノートパソコンなどへのUSB-C接続を使用すると画像が表示されません | ブランク画面 | <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスのUSB-CインターフェイスがDP代替モードをサポートできるかどうかを確認します。 ・デバイスが電力充電を必要としていないか確認します。 ・デバイスのUSB-Cインターフェイスは、DP代替モードをサポートできません。 ・Windowsを投影モードに設定します。 ・USB-Cケーブルが損傷していないことを確認します。 |
| コンピューターやノートPCなどへUSB-C接続を使用しているときは充電されません | 充電されません | <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスが5 V/9 V/15 V/20 V充電プロファイルのいずれかをサポートできるかどうかを確認します。 ・コンピューターが 65W 以上の電源アダプターを必要としていないか確認します。 ・コンピューターに 65W 以上の電源アダプターが必要な場合、USB-C 接続では充電できません。 ・Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 ・USB-Cケーブルが損傷していないことを確認します。 |
| コンピューターやノートPCなどへUSB-C接続を使用しているときは断続的に充電される | 断続的な充電 | <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの最大消費電力が 65 Wを超えていないか確認します。 ・Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 ・USB-Cケーブルが損傷していないことを確認します。 |



| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|--|---|--|
| 録画が動作して いない | 録画アプリが Windows 7 で は動作しない | <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 7 はサポートされていません。 ・ Windows 10 に切り替えてください。 |
| 録画した映像か ら音声聞こえ ない | 第11世代 Tiger Lake プロセッ サーを使用して 録画した映像か ら音声聞こえ ない | デバイスマネージャーで USB オーディオドライ バー用の Intel スマートサウンドテクノロジーを 無効にして、コンピューターを再起動してくだ さい。 |
| 音量を上下す ると、OSD のボ リュームバーの 応答が遅れる | モニターが第11 世代 Tiger Lake プロセッサ ーを使用している 場合、音量を上 下すると、OSD のボリュームバ ーの応答が遅 れる。 | デバイスマネージャーで USB オーディオドライ バー用の Intel スマートサウンドテクノロジーを 無効にして、コンピューターを再起動してくだ さい。 |
| 音量を上下して も、OSD のボリ ュームバーが 応答しない | 音量の上下ボ タンを押して も、OSD のボリ ュームバーが何 も表示しない | Windows サウンド設定から Echo Cancelling Speakerphone (エコーキャンセリングスピーカー フォン、S2422HZ または S2722DZ)を選択してく ださい。 |
| 外部のオーディ オデバイスの 音量を調整で きない | 外部のオーディ オデバイスの 音量を調整で きない | オーディオデバイスのリストから対応するデバイ スを選んでください。 |
| モニターでミュ ートをオンオフ しても、UC プ ラットフォーム のミュートアイ コンが反応し ない | モニターでミュ ートをオンオフ しても、UC プ ラットフォーム のミュートアイ コンが反応し ない | これは規定の動作範囲内です。 UC プラットフォームが次と同期しな い: Zoom、Google Hangouts、BlueJeans、Cisco We bex、Facetime、Slack、GoToMeeting |



| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|------------------|---|--|
| スピーカーから音が出ない | コンピューターでオーディオ/ビデオを再生してもスピーカーから音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ・デフォルトの再生デバイスを Echo Cancelling Speakerphone (エコーキャンセリングスピーカーフォン、S2422HZ または S2722DZ)、あるいは DELL S2422HZ または S2722DZ に設定してください。 ・モニターの電源を切り、モニターの電源ケーブルを抜いてから、再び差し込み、モニターの電源を入れます。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットしてください。 |
| スピーカーの音量が低すぎる | サウンド設定のインターフェースで DELL S2422HZ または S2722DZ を選択するとスピーカーの音量が低すぎる | <ul style="list-style-type: none"> ・Sound (サウンド) ダイアログボックスで DELL S2422HZ または S2722DZ の音量を最大にしてください。 ・音量アップのボタンを押して DELL S2422HZ または S2722DZ の音量を上げてください。 ・マイクの音量を 100 へ上げます。 ・マイクの孔を清掃してください。 ・モニターのマイクを 70cm 未満の距離へ近づけてください。 |
| OSD の音量調整の反応が遅れる | OSD の音量調整の反応が遅れる | デバイスマネージャーで USB オーディオドライバー用の Intel スマートサウンドテクノロジーを無効にして、コンピューターを再起動してください。 |
| マイクが動作しないか検出されない | マイクが動作しないか検出されない | <ul style="list-style-type: none"> ・USB-C アップストリームケーブルがモニターとコンピューターまたはノートパソコンの間に接続されているか、確かめてください。 ・Windows サウンド設定から Echo Cancelling Speakerphone (エコーキャンセリングスピーカーフォン、S2422HZ または S2722DZ) を選択してください。モニターのマイクが選択されており、VoIP または UC のアプリケーションの設定で有効にされているか、ミュート解除されていることを確かめてください。 |



| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| MAC MINI の問題 | MAC MINI の問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用するデバイスの USB ハブは、USB-C ケーブルでデバイスを特定のシステム (Apple M1) に接続してからシステムを再起動すると、検出されません。 ・USB-C ケーブルを外すと、復旧します。" |
| ウェブカムが検出されない | ウェブカムは Windows デバイスマネージャーで検出されない | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブカムのモジュールを引き延ばしてください。 ・USB-C アップストリームケーブルがモニターとコンピューターまたはノートパソコンの間に接続されているか、確かめてください。 ・USB-C アップストリームケーブルをコンピューターやノートパソコンへ再度接続してください。 |
| ウェブカムが接続できないか接続が解除される | モニターのカメラを検出できないか、コンピューターのカメラへ選択を戻せない | <ul style="list-style-type: none"> ・工場出荷時の設定へリセットしてください。電源コードを接続し直してください。 ・カメラを再度オンにしてください。 |
| ウェブカムの画像がぶれる | ウェブカムの画像がぶれる | カメラのレンズから保護フィルムを剥がしてください。 |
| アプリでフリッカ低減レートを 60 Hz から 50 Hz へ下げると、 | アプリでフリッカ低減レートを 60 Hz から 50 Hz へ下げると、 | ウェブカムの画像がちらつく |
| ウェブカムの解像度が低い | ウェブカムの解像度が低い | アプリで画像の解像度を設定してください。最大:5MP (2560 x 1920)。 |
| ウェブカムの画像の露出度が高すぎる | ウェブカムの画像の露出度が高すぎる | <ul style="list-style-type: none"> ・カメラを再度オンにしてください。背景の環境を調整してください。 ・周囲光を 20 lux 以上に明るくしてください。 |
| ウェブカムの画像に粒子が見えたり、暗くなる | ウェブカムの画像に粒子が見えたり、暗くなる | <ul style="list-style-type: none"> ・カメラを再度オンにしてください。背景の環境を調整してください。 ・周囲光を 20 lux 以上に明るくしてください。 |
| カメラの焦点が合わない | カメラの焦点が合わない | 35 cm~70 cm の適切な動作距離に保ってください。 |



| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|---|--|--|
| ウェブカメラの画像の色が正確でない | ウェブカメラの画像の色が正確でない | モニターのファームウェアを最新バージョンにアップデートしてください。 |
| ウェブカメラのビデオにノイズが混じる | ウェブカメラのビデオにノイズが混じる | <ul style="list-style-type: none"> ウェブカメラのモジュールを引き延ばしてください。 USB ケーブルを再接続するか、交換してください。 |
| Windows アップデートまたはドライバのアップデート後にウェブカメラが動作しなくなった | Windows アップデートまたはドライバのアップデート後にウェブカメラが動作しなくなった | <ul style="list-style-type: none"> ドライバを元のバージョンに戻してください。 Windows を直前の状態まで復旧してください(ユーザーがWindows の復旧設定を行っている場合)。 |
| ウェブカメラが使用済みとなり、使用できない | ウェブカメラが使用済みとなり、使用できない | 新たな会議用ソフトウェアを使用する前に、それまでの会議用ソフトウェアをオフにしてください。 |
| Windows OS レベルではコンピューターの音量は変化するが、ライン出力(エコーキャンセリングスピーカーフォンを選択している場合)の音量は調整できない | Windows OS レベルでコンピューターの音量を調整して、ライン出力(エコーキャンセリングスピーカーフォンを選択している場合)の音量も調整できるはずです。 | Windows OS レベルではなく、再生用アプリ(メディアプレーヤーなど)のボリュームバーを調整して、音量を調整できます。または、ライン出力の外部スピーカーで音量を調整できます。 |
| Windows OS レベルではコンピューターをミュートできるが、ライン出力(エコーキャンセリングスピーカーフォンを選択している場合)の音は出力され続ける | Windows OS レベルでコンピューターがミュートされると、ライン出力(エコーキャンセリングスピーカーフォンを選択している場合)の音もミュートされるはずです | 再生用アプリ(メディアプレーヤーなど)のミュートアイコンを使用してミュートするか、ライン出力の外部スピーカーでミュートしてください。 |



ユニバーサル・シリアル・バス (USB) に固有の問題

| 具体的な症状 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|---|--|---|
| USBインターフェースが機能しない | USB 周辺機器が機能しない | <ul style="list-style-type: none">・ディスプレイがオンになっていることか確認します。・アップストリームケーブルをコンピュータに再度接続します。・USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再度接続します。・モニターの電源を切り、再びオンにします。・コンピュータを再起動します。・ポータブルハードドライブなどの一部 USB デバイスは、より高い電源を必要とします。ドライブをコンピュータに直接接続してください。 |
| super speed USB 3.2 Gen 1 インターフェースが遅い。 | super speed USB 3.2 Gen 1 周辺機器の動作が遅い、またはまったく動作しない | <ul style="list-style-type: none">・コンピュータが USB 3.0 に対応しているか確認します。・コンピュータの中には、USB 3.0、USB 2.0、USB 1.1ポートが付いているものもあります。正しい USB ポートが使用されているか確認してください。・アップストリームケーブルをコンピュータに再度接続します。・USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再度接続します。・コンピュータを再起動します。 |
| USB 3.0 デバイスを接続すると、ワイヤレス USB 周辺機器が機能しなくなる | ワイヤレス USB 周辺機器の応答が遅いか、周辺機器とレシーバーの距離が短くなった場合にのみ機能する | <ul style="list-style-type: none">・USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB レシーバーの距離を離します。・ワイヤレス USB レシーバーとワイヤレス USB 周辺機器の距離を、できるだけ短くします。・USB 延長ケーブルを使用して、ワイヤレス USB レシーバーを USB 3.0ポートからできるだけ離します。 |
| USB が機能しない | USB の機能がでない | 入力ソースと USB のペアリング表を参照してください。 |




付録

FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、
https://www.dell.com/regulatory_compliance の規制対応ウェブサイトを参照してください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお問い合わせください。

 **注釈:** 利用できるインターネット接続がない場合、購入時の請求書、梱包票、請求書、または Dell 製品カタログにも連絡先情報が記載されています。

Dell では、複数の方法で、オンラインおよび電話によるサポートとサービスを提供しています。ご利用いただける方法は、国や製品によって異なり、お住まいの地域ではご利用いただけないサービスもあります。

オンライン上のモニターサポートに関するコンテンツについては：

<https://www.dell.com/support/monitors> を参照してください。

販売、テクニカルサポート、またはカスタマーサービス上の問題についてDellにお問い合わせいただく場合は：

1. <https://www.dell.com/support> にアクセスしてください。
2. ページの右下にある国地域選択ドロップダウンメニューでお住まいの国または地域を確認します。
3. 国ドロップダウンメニューの横にあるお問い合わせをクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートへのリンクを選択します。
5. 都合の良い Dell への連絡方法を選択します。

エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース

S2422HZ: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/755430>

S2722DZ: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/755450>

